

令和3年度

(令和3年10月入学)

令和4年度

(第1次募集・第2次募集)

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻
博士前期課程・博士後期課程

学 生 募 集 要 項



岩手県立大学
Iwate Prefectural University

【目 次】

○ アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	1
○ 博士前期課程	3
I 募集人員及び入学時期	
II 出願資格	
III 出願前の事前相談	
IV 出願資格審査	
V 出願手続等	
VI 選抜方法	
VII 選抜日時・試験場等	
VIII 教育研究領域	
○ 博士後期課程	21
I 募集人員及び入学時期	
II 出願資格	
III 出願前の事前相談	
IV 出願資格審査	
V 出願手続等	
VI 選抜方法	
VII 選抜日時・試験場等	
VIII 教育研究領域	
○ 博士前期課程・博士後期課程共通事項	35
I 合格発表	
II 入学手続等	
III 個人成績の開示請求について	
IV 個人情報の取扱い	
V 試験場案内	

ソフトウェア情報学研究科アドミッション・ポリシー

ソフトウェア情報学研究科では、現実社会の中からソフトウェア情報学の観点で、問題を発見し、その問題を実際に解決する実践能力を身につけた人材の養成を目指している。

このため、本研究科では次のような人材の入学を求めている。

- (1) 情熱をもって、コンピュータやソフトウェアのテクノロジーを追求する人
- (2) 社会や現場における問題発見能力、問題解決能力を修得したい人
- (3) コミュニケーション能力を有し、国際的視野で地域の発展に寄与することに興味がある人

ソフトウェア情報学研究科での人材育成目標は次のとおりである。

教育研究目標（養成する人材）＜前期課程＞

具体的には、以下の人材を養成する。

- (1) 自身の適性や能力を的確に把握し、意欲的かつ計画的に学習・研究を継続し、新しい情報技術・システムを創造することができる。
- (2) 情報技術分野に対する情熱を持ち、人間や社会に及ぼす様々な影響や効果を判断し、技術者または研究者としての責任を感じることができる。
- (3) 利用者の立場から、本質的な問題・課題を見出し、適切な解決方法を導き出し、問題・課題を解決することができる。
- (4) 技術者・研究者の立場から、情報技術・システムの幅広い知識とスキル、そして自身の専門分野における学識を活用し、様々な問題・課題に適した仕組みを企画・設計・開発・保守・運用することができる。
- (5) 国際的な視野に立ち、自身の見解を分かりやすく表現できるとともに、他者の意見を受け入れ論理的な議論を交わすことができる。

修了後は、コンピュータ・通信情報関連分野を中心とし、経営・流通等あらゆる分野において、コンピュータソフトウェア、システム、情報メディアおよびネットワークの設計・開発等県内外の企業、官公庁、公的機関等における高度な専門的技術者としての活躍が期待されるほか、大学・研究機関等における研究者、大学院博士（後期）課程への進学が期待される。

教育研究目標（養成する人材）＜後期課程＞

具体的には、以下の人材を養成する。

- (1) 自身の適性や能力を的確に把握し、意欲的かつ計画的に学習・研究を継続し、新しい情報技術・システムを創造することができる。
- (2) 情報技術分野に対する情熱を持ち、人間や社会に及ぼす様々な影響や効果を判断し、技術者または研究者としての責任を感じることができる。
- (3) 利用者の立場から、本質的な問題・課題を見出し、適切な解決方法を導き出し、問題・課題を解決することができる。
- (4) 技術者・研究者の立場から、情報技術・システムの幅広い知識とスキル、そして自身の専門分野における学識を活用し、様々な問題・課題に適した仕組みを企画・設計・開発・保守・運用することができる。
- (5) 国際的な視野に立ち、自身の見解を分かりやすく表現できるとともに、他者の意見を受け入れ論理的な議論を交わすことができる。
- (6) 博士後期課程修了時には、上記各項目のより高度な能力を修得し、情報技術・システムの新しい分野を創造することができる。また、社会の要請や自身の志のもとに実施する活動を通して「人に優しい情報化社会」の実現に寄与できる。

修了後は、コンピュータ・通信情報関連分野を中心とした大学・研究機関等における高度な実践的研究者や教育者としての活躍が期待される。

博士前期課程

I 募集人員及び入学時期

ソフトウェア情報学研究科 ソフトウェア情報学専攻 博士前期課程

区分	募集人員	入学時期
令和3年10月入学	若干名	令和3年10月
第1次募集	40名 (推薦・特別推薦・社会人・外国人留学生を含む)	令和4年4月又は令和4年10月 (志願者が出願時に選択)
第2次募集	第1次募集の結果により11月中旬に本学ホームページにおいて発表します。	令和4年4月又は令和4年10月 (志願者が出願時に選択)

II 出願資格

1 一般

次の(1)～(9)のいずれかに該当し、かつ(10)に該当する者

- (1) 学校教育法(昭和22年法律第26号)第83条に定める大学を卒業した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに学士の学位を授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)
- (8) 次のいずれかに該当する者であって、本学大学院において審査の結果、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めたもの
 - ① 大学に3年以上在学した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9

- 月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに在学期間が3年以上となる者
- ② 外国において学校教育における15年の課程を修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
 - ③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
 - ④ 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに修了見込みの者
- (9) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和4年4月1日(令和3年10月入学の場合は令和3年10月1日、令和4年10月入学の場合は令和4年10月1日)現在で22歳に達しているもの
- (10) 日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)については、次の各項について、1つ以上該当する者
- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
 - ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者(別表p.5~6)
 - ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

2 推薦

次の(1)あるいは(2)のいずれかに該当し、かつ(3)に該当する者

- (1) 令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに学校教育法第83条に定める大学を卒業見込みで、学業成績、人物ともに優れていて、学部長から推薦を得られた者、かつ、入学を確約できる者
- (2) 令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに学校教育法第104条第4項に定める高等専門学校専攻科等により、学士の学位を授与される見込みで、学業成績、人物ともに優れていて、学校長から推薦を得られた者、かつ、入学を確約できる者
- (3) 日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)については、次の各項について、1つ以上該当する者
 - ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
 - ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者(別表p.5~6)
 - ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

3 特別推薦

次の(1)あるいは(2)のいずれかに該当し、かつ(3)に該当する者

- (1) 令和3年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場

合は、令和4年9月末日)までに岩手県立大学ソフトウェア情報学部を卒業見込みで、学業成績が極めて優れていて、学部長からの推薦が得られた者、かつ、入学を確約できる者。

- (2) 令和4年3月末日または令和4年9月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに、岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科と推薦入学に関する協定を締結している大学(注1)を卒業見込みで、学業成績が極めて優れていて、学部長からの推薦が得られた者、かつ、入学を確約できる者

注1 令和3年4月現在の対象大学は、大連交通大学軟件学院(中華人民共和国)

- (3) 日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)については、次の各項について、1つ以上該当する者

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN1以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
- ② 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格し、日本の大学での半年以上の留学経験を有する者

4 社会人

次のすべてを満たす者

- (1) 志願区分「一般」の出願資格に該当し、令和4年3月末日(令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日)までに、企業、官公庁、教育機関又は研究機関等に2年以上の在職経験(志願区分「一般」の出願資格(1)から(9)まで((8)の①を除く)のいずれかに該当した後のものに限る)を有し、かつ、令和4年4月1日(令和3年10月入学の場合は、令和3年10月1日、令和4年10月入学の場合は、令和4年10月1日)現在で24歳に達している者
- (2) 日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)については、次の各項について、1つ以上該当する者

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
- ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者(別表p.5~6)
- ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

5 外国人留学生

日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)で、志願区分「一般」の出願資格の(1)から(8)まで((8)の①を除く)のいずれかに該当し、かつ、次の各項について、1つ以上該当する者

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
- ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者(別表p.5~6)
- ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

(別表)【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】(次ページへ続く)

資格名称	基準	認定団体
TOEFL	(PBT) 463点以上 (iBT) 50点以上	一般社団法人CIEE国際教育交換協議会

資格名称	基準	認定団体
TOEIC	480 点以上	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

※出願期間最終日の前日から起算して 2 年前の日以降に受験していること

※その他の資格については、教育支援室入試グループにお問い合わせください。

6 出願資格審査対象者

志願区分「一般」の出願資格(8)又は(9)に該当することにより出願しようとする者(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。以下同じ。)は、事前に資格審査を受けなければなりません。詳しくは、『IV 出願資格審査』を参照ください。

志願区分「一般」の出願資格(8)(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む)の出願資格審査基準は、以下のとおりです。ただし、外国において大学教育修了までの学校教育の課程が 15 年である場合は、この限りではありません。

- 1 大学在学期間が、令和 4 年 3 月末日(令和 3 年 10 月入学の場合は、令和 3 年 9 月末日、令和 4 年 10 月入学の場合は、令和 4 年 9 月末日)までに 3 年間に達すること。なお、休学となった期間は在学期間に含まれません。
- 2 次の 2 つの条件のうち、いずれかに該当すること。
 - (1) 令和 3 年 10 月入学では令和 3 年 3 月末日(3 年次)、1 次募集では令和 3 年 3 月末日(2 年次)、2 次募集では令和 4 年 9 月末日(3 年次前期)までに、本学のソフトウェア情報学部で開講されている必修である専門科目に相当する科目を履修済みで、成績評価の欠損値の合計が 2 以内であること。ただし、欠損値は、「秀」また「優」評価を 0、「良」評価を 1、「可」評価を 2 として算出する。
 - (2) 令和 3 年 10 月入学では令和 3 年 3 月末日(3 年次)、1 次募集では令和 3 年 3 月末日(2 年次)、2 次募集では令和 4 年 9 月末日(3 年次前期)までに、本学のソフトウェア情報学部で開講されている必修である専門科目に相当する科目を履修済みで、成績が優秀であり、かつ卒業論文に相当する研究業績があること。

(注)

- (1) 入学試験合格後に、1 の大学在学期間を満たさない場合は、入学の許可を取り消します。
- (2) 本出願資格により入学する場合は、学部学生を有することはできず、学部を退学して大学院に入学することになります。従って、大学の学部卒業を要件としている各種の資格試験は、受験できなくなります。

Ⅲ 出願前の事前相談

出願予定者(特別推薦の出願資格(2)で出願する者は除く)は、入学後の研究計画等について指導を受けようとする教員と事前相談を必ず行い、その内容を研究計画書(F票)に記入するとともに、事前相談の内容に関し、指導希望教員の捺印をもらってください。あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録(FAXの写し、電子メールのハードコピー等)を添付してください。

IV 出願資格審査

志願区分「一般」の出願資格(8)又は(9)に該当することにより出願しようとする者(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む)は、事前に資格審査を行うので、次の書類を郵送(書留速達)により、提出してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究科博士前期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

1 提出書類

出願資格1の(8)で出願しようとする者(当該出願資格に該当し「社会人」、「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む)	出願資格1の(9)で出願しようとする者(当該出願資格に該当し「社会人」の志願区分で出願しようとする者を含む)
<ul style="list-style-type: none"> ① 出願資格審査申請書(本学所定) ② E票 履歴書(本学所定) ③ 成績証明書(出身学校所定) ④ F票 研究計画書(本学所定) ⑤ I票 業績レポートB(本学所定) (志願区分「社会人」で出願する者に限る) ⑥ J票 業績レポートC(本学所定) (志願区分「一般」、「外国人留学生」で出願する者に限る) ⑦ 修了(見込)証明書(出身学校所定) ⑧ 在学(期間)証明書(出身学校所定) ⑨ 卒業論文に相当する研究業績 (前記出願資格審査基準の2の(2)に該当する者) ⑩ 日本語能力試験レベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し(日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)) ⑪ 本人のあて先記入の角形2号封筒 (※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと) 	<ul style="list-style-type: none"> ① 出願資格審査申請書(本学所定) ② E票 履歴書(本学所定) ③ 成績証明書(出身学校所定) ④ F票 研究計画書(本学所定) ⑤ H票 業績レポートA(本学所定) (志願区分「一般」で出願する者に限る) ⑥ I票 業績レポートB(本学所定) (志願区分「社会人」で出願する者に限る) ⑦ 卒業(修了)証明書(出身学校所定) ⑧ 日本語能力試験レベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し(日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)) ⑨ 本人のあて先記入の角形2号封筒 (※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと)

※国外への資格審査書類の返送については、「Ⅲ 出願前の事前相談」の照会先へお問い合わせください。

2 提出期間等

(1) 提出期間

令和3年10月入学・第1次募集：

令和3年5月27日(木)から令和3年5月31日(月)午後4時必着

第2次募集：

令和3年12月1日(水)から令和3年12月3日(金)午後4時必着

(上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください)

ただし、上記出願期間最終日の午後4時を過ぎて到着したものでも、国内郵便であれば、令和3年10月入学及び第1次募集の場合は5月29日(土)まで、第2次募集の場合は12月1日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

(2) 出願資格認定結果の通知

出願資格認定結果は、提出書類とともに下記期日に郵送で本人あてに通知します。

令和3年10月入学・第1次募集：令和3年6月7日(月)

第2次募集：令和3年12月13日(月)

なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

提出先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52 TEL 019-694-2014 (直通)

V 出願手続等

1 出願期間

令和3年10月入学・第1次募集：

令和3年6月21日(月)から令和3年6月24日(木)午後4時必着

第2次募集：

令和4年1月19日(水)から令和4年1月21日(金)午後4時必着

(上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください)

ただし、上記出願期間最終日の午後4時を過ぎて到着したものでも、国内郵便であれば、令和3年10月入学及び第1次募集の場合は6月22日(火)まで、第2次募集の場合は1月19日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

2 出願方法

本学大学院の出願書類等を封筒に入れて出願してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究所博士前期課程出願書類在中」と朱書し、一般・推薦・特別推薦・社会人・外国人留学生の別を明記してください。また、裏面には住所・氏名を記入してください。

- (1) 郵送する場合 「書留速達による郵送」としてください。

出願書類等送付先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

- (2) 持参する場合 受付時間：午前9時から午後4時まで
(午前11時45分から午後1時を除く。)

出願書類等受付場所

岩手県立大学 本部棟

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

※ 上記の受付時間・受付場所以外では一切受け付けません。

3 出願書類

出 願 書 類	一般	推薦	特別 推薦	社会	外国人 留学生	摘 要
A票 入学志願票	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。
【日本国内で入学検定料を振り込む場合】 入学検定料(払込受付証明書) 貼付用紙	△	△	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の「振込依頼書」を使用し、必要事項を記入のうえ、30,000円を添えて必ず金融機関の窓口で納入してください。 ATM(現金自動預払機)は使用しないでください。 払込後、金融機関から受け取った「払込受付証明書」の受付金融機関日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄に貼付してください。 なお、「振込金領収証」は入学志願者が保管するものです。貼り間違えないようにしてください。 令和3年10月入学及び第1次募集の検定料は令和3年6月7日(月)～6月24日(木)までの期間に、第2次募集の検定料は令和4年1月4日(火)～1月21日(金)までの期間に振込みをしてください。 なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 検定料を振り込んだが出願しなかった場合 (イ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 (ウ) 検定料を二重に振り込んだ場合 上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず岩手県立大学教育支援室入試グループ(Tel 019-694-2014)まで連絡してください。返還の際には、「払込受付証明書」または「払込金領収書」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。 4. 入学検定料の納付方法もご参照ください。
【日本国外から入学検定料を送金する場合】 入学検定料外国送金証明書の写し	△	△	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 願書提出時まで、外国送金を取り扱っている最寄りの銀行から、入学検定料30,000円を、12ページに記載の銀行口座に送金してください。 (送金については12ページを参照してください) 米ドル等他の外貨建ての送金を行わないでください。日本円以外の外貨で送金した場合、出願を認めません。 送金に係る振込手数料は全て振込み者が負担してください。また、経由銀行がある場合は、経由銀行において手数料がかかります。これらの手数料も振込者に負担していただきますので、送金時に、送金銀行に対し、「振込み手数料は全て振り込み者が負担する。」旨を伝えてください。 送金後、金融機関から受け取った「外国送金証明書」の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、送金した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 (ア) 検定料を送金したが出願しなかった場合 (イ) 検定料を送金したが出願が受理されなかった場合 (ウ) 検定料を二重に送金した場合 上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず岩手県立大学教育支援室入試グループ(Tel 019-694-2014)まで連絡してください。返還の際には、「外国送金証明書」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。 4. 入学検定料の納付方法もご参照ください。
B票 受験票	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。
C票 写真票	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 縦4cm×横3cmの写真(正面上半身無帽、背景無し、出願前3ヶ月以内に撮影したもの)の裏面に志望研究科、課程、氏名を記入し、それぞれの写真貼付欄にはがれないよう全面をのり付けしてください。 特別推薦で出願する者は、写真の提出は不要です。
D票 住所票	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 合格通知等の通信用に用いますので、郵便番号、住所、氏名を記入してください。
E票 履歴書	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。
成績証明書	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格に該当する出身大学の学長(学部長)又は出身学校長が作成し、厳封したもの(外国語で作成されたものは除く)を提出してください。 なお、出願資格一般(2)および推薦(2)で出願する者は、高等専門学校本科等の成績証明書も提出してください。 また、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合は、編入学前の学校の成績証明書も併せて提出してください。
F票 研究計画書	○	○	△	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。 特別推薦においては、出願資格(1)で出願する者が提出してください。 事前相談内容を記入のうえ、指導希望教員の捺印をもらうか、あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録(FAXの写し、電子メールのハードコピー等)を添付してください。

出願書類	一般	推薦	特別推薦	社会	外国人留学生	摘要
G票 希望研究テーマ申請書			△			<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。 特別推薦の出願資格(2)で出願する者が提出してください。
H票 業績レポートA	△					<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。 出願資格1の(9)で出願する者が提出してください。
I票 業績レポートB				○		<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。
J票 業績レポートC	△				△	<ul style="list-style-type: none"> 必要事項を漏れなく記入してください。 出願資格1の(8)で出願する者が提出してください。 学会発表などの場合は、その原稿の写し、自作ソフトウェアの場合はソフトウェアの機能など特徴の分かるもの(様式自由)、受賞などの場合は表彰状など内容を証明できるものを提出してください。
卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込証明書	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学(出身学校)所定のものを提出してください。(入学年月日が記載されているもの)。 3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
学士の学位授与(見込)証明書等	△			△	△	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格1の(2)(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む)で出願する者が提出してください。 学位授与機構が発行する学士の学位授与(見込)証明書若しくは、短期大学長又は、高等専門学校長の発行する学位授与申請(予定)証明書を提出してください。
教育職員免許状授与証明書	△			△	△	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格1の(7)(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。)で出願する者で出願資格に該当する教育職員免許状を受けている者のみ提出してください。
K票 推薦書(社会人用)				○		<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の様式により、現職場の所属長等が作成し、厳封したもの(外国語で作成されたものは除く)を提出してください。(任意提出)
L票 推薦書		○	○			<ul style="list-style-type: none"> 本学所定の様式により、大学の学部長または高等専門学校等の学校長が作成し、厳封したもの(外国語で作成されたものは除く)を提出してください。
住民票の写し又は住民票記載事項証明書	△	△	△	△	○	<ul style="list-style-type: none"> 外国籍を有するものは、市区町村長の発行する住民票の写し又は住民票記載事項証明書(在留資格の記載があるもの)を提出してください。なお、市区町村発行の住民票の写し又は住民票記載事項証明書が提出できない場合には、それに代わるもの(パスポートの氏名・生年月日が記載された箇所・査証等の写し)を提出してください。
「戸籍謄本」又は「市民証明書」			△			<ul style="list-style-type: none"> 特別推薦の出願資格(2)で出願する者が提出してください。 国籍が中華人民共和国の者は、中華人民共和国の「戸籍謄本」または「市民証明書」
在学(期間)証明書	△		△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 出願資格1の(8)(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。)、または特別推薦の出願資格(2)で出願する者が提出してください。 3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
<ul style="list-style-type: none"> 日本語能力試験レベルN2以上の認定結果及び成績に関する証明書 本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書 パスポートの写し 	△	△	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> 日本国籍及び日本における永住資格を有しない者はいずれかを提出してください。 英語検定試験の成績に関する証明書を提出する場合はTOEFLのスコアレポート(Examinee Score Report)又は、TOEICのスコアレポート(Official Score Certificate)本紙を提出してください。なお、スコアレポートは受験票送付の際に返却します。
M票 受験票送付用封筒貼付用紙	○	○	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> 「受験票」送付用として使用します。郵便番号・住所・氏名を記入し、374円の切手を貼った上で、点線に沿って切り取り、長形3号封筒に貼り付けて提出してください。 日本以外の国へ受験票の送付を希望する場合は、M票を使用せず、注意事項(日本以外の国へ受験票を送付希望の場合)を読み、送付用封筒を準備してください。
<p>※ 作成にあたって、本学所定の様式の変更は認められません。</p> <p>※ △については、該当する者が提出してください。</p> <p>※ 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。翻訳は本人でもかまいませんが、翻訳者が署名のうえ、その連絡先(電話番号)を記入してください。厳封は不要です。</p> <p>※ 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を提出してください。</p>						

◎ 上記書類を封筒に入れて、出願してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究所博士前期課程出願書類在中」と朱書きし、一般・推薦・特別推薦・社会人・外国人留学生の別を明記してください。

注意事項（日本以外の国へ受験票を送付希望の場合）

日本以外の国へ受験票を送付希望の場合は、下記手順に沿って、送付用ラベル・送付用封筒・国際返信用切手を準備してください。

- (1) 本学から受験票を送付する際はEMS（国際スピード郵便）を使用します。最寄りの郵便局等でEMS専用ラベルを準備してください。EMS専用ラベルは、お届け先（受験生本人）欄のみ記入してください。
※日本からEMSで送る際に、EMS専用ラベルに同封されている2枚より多く、税関告知書が必要な場合やインボイスが必要な場合は、同封してください。
- (2) 封筒は、EMS専用封筒（郵便局等で販売）又は国別のEMSのサイズ・重量の規定内で内容品を保護するために十分な包装材を使用してください。
※EMSでは郵送中に封筒に傷がつく等の破損も考えられますので、EMS専用封筒が推奨されます。
- (3) 本学からEMSで郵送する際の料金は、他の受験者と同様に、本人負担となります。日本からEMSで郵送するのに必要な金額分の国際返信用切手を購入し、同封してください。日本からEMSで郵送する料金は下記一覧を参考にしてください。

重量	第1地帯 アジア	第2-1地帯 北中米・中近東・オセアニア	第2-2地帯 ヨーロッパ	第3地帯 南米・アフリカ
500gまで	1,400円	2,000円	2,200円	2,400円

※受験票は試験日の1週間前程度には届くように送付します。来日日程により、受験票の受取りが難しい場合は、下記連絡先へご連絡ください。

岩手県立大学教育支援室入試グループ

TEL：019-694-2014 MAIL：ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp

4 入学検定料の納付方法

- (1) 日本国内で振り込む場合

本学所定の「振込依頼書」を使用し、必要事項を記入のうえ、**必ず金融機関の窓口で納入してください。**

ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。

払込後、金融機関から受け取った「払込受付証明書」の受付金融機関日附印欄の押印を確認のうえ、「② 入学検定料（払込受付証明書）貼付用紙」に貼付してください。

- (2) 日本国外から送金する場合

次の要領に従って、現地の金融機関から入学検定料を送金してください。

日本国内外の金融機関で発生する**全ての手数料は依頼人負担になります**。送金手続を行う現地の金融機関に手数料の額を確認し、入学検定料30,000円が指定口座に到着するように手続してください。

送金後、**外国送金依頼書の写しを出願書類等と一緒に提出してください。**

送金には時間がかかりますので早めに手続を行い、必ず出願受付期間内に指定口座に到着するようにしてください。

送金種類 (Type of Remittance)	電信送金 (Telegraphic Transfer)	
支払方法 (Payment Instruction)	通知払 (Advice and Pay)	
円為替手数料 (Lifting Charge)	依頼人負担 (Payer Account)	
送金金額 (Amount)	¥30,000	
メッセージ (Message)	志願者氏名 (Applicant Name)	
送金目的 (Purpose of Remittance)	入学検定料 (Application Fee)	
送金先の金融機関	銀行名 (Bank Name)	岩手銀行 (The Bank of Iwate, Ltd.)
	支店名 (Branch)	県庁支店 (Kencho Branch)

Financial institution of the remittance	銀行住所 (Branch Address)	〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 10-1 (10-1 Uchimaru, Morioka, 020-0023, Japan)
	口座番号 (Account Number)	普通預金 2000920 (Ordinary Deposit Account No.2000920)
	受取人名義 (Payee's Name)	公立大学法人岩手県立大学理事長 千葉 茂樹 (SHIGEKI CHIBA Chairman of Public University Corporation Iwate Prefectural University)
	スウィフト・コード (Swift Code)	BAIWJPT

5 出願上の注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ・ 出願書類の記入にあたっては、黒色ボールペン又は黒色インクを使用し、正しく明確に記入してください。
- ・ 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、岩手県立大学 教育支援室入試グループまで連絡してください。
- ・ 推薦での出願であっても、特に必要と判断された場合には、志願区分を一般に変更することがあります。
- ・ 一度受理した出願書類は返還しません。
- ・ 受験票は、出願受理後に本人あて送付します。試験3日前までに受験票が届かない場合は、岩手県立大学 教育支援室入試グループまでお問い合わせください。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- ・ 本学に入学を志願する者で、障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、下記期日までに岩手県立大学 教育支援室入試グループに相談してください。

令和3年10月入学・第1次募集：令和3年5月24日(月)まで

第2次募集：令和3年12月10日(金)まで

VI 選抜方法

1 一般

入学者の選抜は、筆記試験、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。筆記試験は、英語、数学、専門科目からなります。このうち、数学、専門科目は、次表の3題から、それぞれ1題を選択して解答する形式です。

科目	問題	キーワード
数学	離散数学	論理、集合、組合せ、グラフ
	線形代数	ベクトル空間、線形写像、行列、行列式、固有値
	解析学	関数、極限、連続、微分、積分
専門科目	アルゴリズムとデータ構造	アルゴリズム、データ構造、計算量、ソーティング、グラフ
	情報ネットワーク	TCP/IP、ソケット API、コネクション指向型通信、コネクションレス型通信、通信プロトコル
	情報システム	モデル化、問題解決、構築プロセス、分析設計、システム・開発管理、運用保守

2 推 薦

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。

3 特別推薦

入学者の選抜は、出願書類のみで判定します。

4 社会人

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。

面接には、口頭試問（専門分野の基礎、英語能力）を含みます。

5 外国人留学生

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。

面接には、口頭試問（専門分野の基礎、英語能力）を含みます。面接は、原則として日本語で行いますが、必要に応じて英語で行う場合もあります。

Ⅶ 選抜日時・試験場等

1 選抜日時

令和3年10月入学・第1次募集（特別推薦を除く）：

令和3年7月10日（土）

第2次募集：

令和4年2月18日（金）

(1) 一般

筆記試験（英語、数学、専門科目）90分

面接

(2) 推薦・社会人・外国人留学生

面接

※ 試験日程（日時・入室時刻・試験開始時刻等）の詳細については、受験票送付時に通知します。

2 試験場

岩手県立大学

案内図（39ページ）を参照してください。

3 受験上の注意事項

- ・ 「受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、提示してください。
- ・ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票等の交付を受けてください。また、受験票は、個人成績の開示請求の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ・ 受験者は、受付をし、入室時刻までに指定された教室に入室し、着席してください。
- ・ 筆記試験は、試験開始後30分以内の遅刻に限り受験を認めますが、試験時間の延長は行いません。
- ・ 面接の際は、指定された時刻までに受付を済ませ、待機してください。なお、指定された面接開始時刻に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ・ 筆記試験（一般のみ）又は面接のいずれか1つでも受けなかった者は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とし、入学者選抜の対象から除きます。
- ・ 筆記試験時間中に使用を許可するものは、辞書（英和1冊。ただし、電子辞書など電子的なもの除く。）、鉛筆（シャープペンシル可）、消しゴム、鉛筆削り、時計（計時機能のもののみ）に限ります。常に机上で使用してください。
- ・ 携帯電話等は教室に入る前に電源を切っておいてください。
- ・ 試験場における受験者間の物品の貸与は一切認めません。
- ・ 昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。
- ・ 試験場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じて責任を負えないので注意してください。
- ・ 試験実施日の前日の午後限り、岩手県立大学構内の下見はできますが、建物内への出入りはできません。
- ・ その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

VIII 教育研究領域 (異動等により変わる場合もありますので、事前にご確認ください)

研究キーワード (◎主となるキーワード、○副となるキーワード)

データ・数理科学コース

教員	ウェブ情報学・サービス情報学	オペレーションズリサーチ	オペレーティングシステム	教育工学	組込みシステム	経営工学	経営情報	最適化	社会資本リスクマネジメント	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	情報理論	数理情報	数理統計	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	ソフトウェア工学	パターン認識	並列・分散処理	モバイルネットワーク	リスク分析
教授 猪股 俊光				○										◎			○					
教授 高田 豊雄												◎	◎	○								
教授 王家宏									◎							○				◎	○	
教授 竹野 健夫		○				◎	○				○				○							
准教授 大堀 勝正								○							○							◎
准教授 岡本 東		○				○		◎			○											
准教授 児玉英一郎	○													◎		○				○		
准教授 田村 篤史			◎											○	○							
講師 山田 敬三								◎					○	○				○				
助教 片町 健太郎		○											○	◎			○					

コンピュータ工学コース

教員	インターネット放送	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	オーバレイネットワーク	オペレーティングシステム	音声情報	画像情報処理	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	組込みシステム	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータネットワーク	コンピュータビジョン	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	ネットワークプロトコル	ヒューマンコンピュータインタラクション	並列・分散処理	モバイルネットワーク		
教授 蔡 大維		○										◎																					
教授 佐藤 裕幸					○		○					○		○																	◎		
教授 橋本 浩二				○											◎															○			
教授 Bhed Bahadur Bista																					◎							◎			◎		
教授 馬淵 浩司																	○								◎								
准教授 新井 義和												◎														○							
准教授 今井 信太郎												○			○								◎					○					
准教授 齊藤 義仰	◎														◎													○			○		
准教授 鈴木 彰真						○	○	○	○		○	○											○	○		○							
講師 伊藤 久祥										○	○					○	○											◎					
講師 佐藤 永欣			○	○											○											○	○						
講師 杉野 栄二				◎								○											○								○		
講師 成田 匡輝			○																	○	◎	○											

人工知能コース

教員	医療福祉情報	ウェブ情報学・サービス情報学	音声情報	画像情報処理	感性データベース	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータネットワーク	コンピュータビジョン	最適化	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	パターン認識	ヒューマンコンピュータインタラクション
教授 伊藤 慶明		◎							○		○							○	
教授 亀田 昌志				◎			○				○								
教授 土井 章男	○			○			○				○				◎				○
教授 Basabi Chakraborty				○			○			○		○						◎	
准教授 樽松 理樹		○										◎			○				
准教授 小嶋 和徳				◎			○			○								○	
准教授 眞田 尚久				○							◎			◎					
准教授 戴 瑩					○	◎			○	○	○							○	
准教授 David Ramamorjisoa		○		○					○	○		○						○	
准教授 羽倉 淳													○			◎			○
准教授 Prima Oky Dicky Ardiansyah				◎							◎		○				○		○
准教授 松原 雅文											◎	○							

社会システムデザインコース

教員	eラーニング	医療福祉情報	インターネット放送	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	親光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	経営工学	経営情報	コンピュータグラフィックス	自然言語処理	社会システム	情報システム	情報セキュリティ	情報デザイン	スキルサイエンス	センサネットワーク	地域情報化	知識ベースシステム	地理情報システム	ヒューマンコンピュータインタラクション	リスク分析
教授 阿部 昭博					○										◎					○				
教授 小方 孝													○	○						◎				
教授 佐々木 淳		○	○		○	○									○					◎		○		○
教授 布川 博士					○	○								○						◎				
教授 堀川 三好				○										○					◎					
准教授 市川 尚	○							◎	○						○									
准教授 植竹 俊文		○								◎	○				◎				○					
准教授 西崎 実穂																	◎							
准教授 高木 正則	◎							◎	◎						○									
准教授 松田 浩一		○						○			◎							◎					◎	
講師 小倉 加奈代													○		○	○							◎	
講師 佐藤 究								○	○														◎	
講師 富澤 浩樹					○									◎					○					
講師 西岡 大														◎	○								○	
講師 南野 謙一								○						◎								○		○

研究テーマ

データ・数理科学コース

教員	研究テーマ
教授・猪股 俊光	組込みソフトウェア(車載ソフト, ロボット制御ソフトなど)の高信頼手法, 組込みシステムのモデリングと解析, IoT 機器の制御法, 初心者のためのプログラミング学習法
教授・高田 豊雄	ネットワークセキュリティ全般, 個人認証方式, モバイル機器のセキュリティ, マルウェア対策, 通信路符号化, HCI の知見を採り入れたセキュリティシステム・ツールのセキュリティ改善
教授・王家宏	インフラに依存しないクラウドサービス構築技術, RAID 技術を用いたオンラインストレージシステム, 災害地におけるアドホックネットワーク用ルーティングアルゴリズム, プライバシーを保護した分散データマイニング
教授・竹野 健夫	数理計画問題, 最適化, スケジューリング, 確率モデル, 在庫管理, 意思決定支援に関するモデリングと解法の提案. また, それらを組み込んだ情報システムの構築.
准教授・大堀 勝正	数理統計, 数理モデル, リスク分析, 社会資本 (道路, 鉄道等) におけるリスクマネジメントおよび経営資源配分
准教授・岡本 東	組合せ最適化, 生産・物流スケジューリング (ルーティング), 生産工程における測位技術の応用, ソフトウェアの部品化再利用, 地域の公共機関・団体のための情報システム, 家畜の交配計画システム
准教授・児玉 英一郎	Web リソースの効率的な発掘と利活用, Linked Data のメンテナンスや利活用, 分散環境における情報セキュリティ, オノマトペの収集と分類及び利活用, 情報処理における代数的整数論の利活用
准教授・田村 篤史	探究的な学習に対応した非ユークリッド幾何教材の開発. Julia を用いた大学幾何教材の開発. 数学的能力・才能に関する基礎研究および数学才能教育に関する理論的研究.
講師・山田 敬三	遺伝的アルゴリズムを用いた特性発見, 遺伝的アルゴリズムを用いた組み合わせ最適化, マルチエージェントシステムを用いた推薦, 項目反応理論の推薦への活用, 階層分析法を用いた推薦
助教・片町 健太郎	携帯端末を活用した出席確認システム及び安否確認システム, 対称群の互換列についての教え上げ及び列挙

コンピュータ工学コース

教員	研究テーマ
教授・蔡 大維	イヤホン型ウェアラブルビジターガイド端末と総合管理システムの実用化, 世界的に注目されているウェアラブル技術とワイヤレス充電技術を融合させ, 自動観光案内のウェアラブル端末及び高度な総合充電管理装置の開発を行う.
教授・佐藤 裕幸	高性能プロセッサの組み込み系での活用技術, 無人搬送車の自律走行に向けた組み込みリアルタイム画像処理, 大規模システムでの高性能プロセッサ活用技術 (画像処理, データベース処理, センサ信号処理等)
教授・橋本 浩二	映像・音声ライブ中継用バックエンドシステムの研究開発, 利用者環境に応じて柔軟な構成を可能とするテレビ会議システムの要素技術, 複数の送信元を想定した分散型ライブ中継システムのユーザインターフェース
教授・Bhed Bahadur Bista	次世代情報ネットワークのネットワークプロトコル, モバイルネットワークなどとエネルギー効率的な情報ネットワーク
教授・馬淵 浩司	宣言型計算モデルに基づく問題解決, 宣言型計算モデルに基づく自然言語理解, 自動化を追求した e-ラーニングシステムの構築, 既存楽曲の特徴を利用した自動楽曲生成, 雪道の自動車運転におけるヒヤリハット防止のためのシミュレーション分析
准教授・新井 義和	局所的通信デバイスの開発, 複数ロボットの協調, ロボット間の衝突回避, ロボットの行動認識, ロボットナビゲーション, 自動車運転支援システム, 車々間/路車間通信デバイスの開発, センサネットワークの構築
准教授・今井 信太郎	柔軟なノード間連携により大量のデータ処理を実現するセンサシステム基盤技術, 小規模農家支援のためのセンサシステム, 大規模災害時の円滑な通信を実現する不揮発性ネットワークング技術
准教授・齊藤 義仰	インタラクティブなインターネット放送システムと応用研究, 人間的な側面からの安全運転支援, 効果的なインターネット広告表示, 地域課題への ICT 応用
准教授・鈴木 彰真	オノマトペを用いた食品の感性検索, 地域特有料理及び提供店舗の検索システム, 振動/圧力による車の接近告知システム, SS 超音波を用いた測位システムの研究, SS 超音波を用いたロボットモニタリングシステム
講師・伊藤 久祥	つながり感通信に適した映像の解像度の評価, 学習者の視線による授業評価指標の開発, QR コードを利用した大規模授業における提出物の管理手法, 音声認識を用いた簡易的な視野欠損検査手法の開発
講師・佐藤 永欣	各種センサを利用したスポーツ指導支援, GNSS による走行軌跡を用いた地図自動更新, P2P 防犯カメラネットワーク, 分散検索システム
講師・杉野 栄二	オペレーティングシステム, 組込 OS, 並列分散 OS, OS 記述のためのプログラミング言語
講師・成田 匡輝	サイバー攻撃の監視, ダークネット監視システム, スマートフォンのセキュリティ, 個人認証方式, SNS 利用者の個人情報保護, 侵入検知システム, パスワード管理

人工知能コース

教員	研究テーマ
教授・伊藤 慶明	ビデオ中で検索語が話されている区間を特定する技術の研究. 音声認識技術の研究. 運転中のドライバーとの雑談対話システムの研究.
教授・亀田 昌志	ノルム正則化に基づいた超解像におけるテクスチャの鮮鋭化, レート vs. 歪特性の観点でのサブバンド符号化のための最適帯域分割, 超解像を利用した高精細画像に対する新画像符号化方式, 質感の改善を定量的に評価可能な画像特徴量の提案

教員	研究テーマ
教授・土井 章男**	医師が容易に使用可能な 3 次元画像可視化システムや、整形外科向けの術前・術中支援システムの研究開発を行っている、また、同時に、各システムに必要な基盤技術として、可視化、コンピュータグラフィックス、画像処理の基礎研究を行っている。
教授・Basabi Chakraborty*	1) 顔認識、署名認識、gait 認識など認証技術および一般的パターン認識問題に関する研究、2) 時系列データ解析、ソフトコンピューティングを用いた最適化問題解決、3) ソーシャルメディアデータ解析
准教授・樽松 理樹	専門家による評価結果を用いた特許公報からの課題・手段推定支援手法の提案、語感と楽曲情報を利用した音声合成手法の提案、救急外来トリアージ支援システムの検討、多様な方言に対応した音声認識システムの開発
准教授・小嶋 和徳	進化計算の大規模並列化に関する研究、進化計算を用いた画像中の物体検出に関する研究、野鳥の品種識別に関する研究、情景画像からの情報抽出に関する研究
准教授・眞田 尚久	視知覚の脳情報処理メカニズムの研究、脳内における多感覚情報の統合メカニズムに関する研究、深層畳み込みニューラルネットワーク (DCNN) の中間層における情報表現、視覚運動情報による質感の脳内表現と画像処理への応用
准教授・戴 瑩	・人間の感性を考慮する画像・映像などの検索や編集などに関する研究 ・big sensor data を用いた状況推定に関する研究 ・顔の検出と認識や、表情から感情の認識などに関する研究
准教授・David Ramamonjisoa	金融情報から投資意思決定支援システムの研究、トピックモデルを用いてニュース記事のコメントや論文などの話題と傾向分析、機械学習によるデータ解析に関する研究。
准教授・羽倉 淳	自律ロボットのための知覚メカニズム、交通事故防止のためのパーソナライズド・セーフティ・システム、多次元時系列データからの特徴抽出に関する研究、行動観察に基づく心理状態認識メカニズム
准教授・Prima Oky Dicky Ardiansyah	赤外線・可視光線による視線計測システム、行動(顔表情、発話、頷き、顔向け、瞬き)自動観察システム (behavior coding)、生体情報センシングシステム、肢体不自由者のための意思伝達装置などの開発
准教授・松原 雅文	携帯端末向け Web 検索、文字入力、予測入力、アイズフリー入力、画像情報を利用した日本語入力、押下圧を利用した日本語入力、ニューラルネットワークを利用した日本語入力、Twitter ユーザの推薦、楽曲推薦

*印の教員は、令和 4 年 3 月退職予定です。 **印の教員は、令和 5 年 3 月退職予定です。

社会システムデザインコース

教員	研究テーマ
教授・阿部 昭博	地域情報システム(観光、まちづくり、歴史文化、生活等)の実践的研究、情報システム分析・設計法(サービスデザイン、参加型アプローチ等)、観光情報学、社会的課題への GIS 適用
教授・小方 孝	物語生成システム、自動生成コンテンツ、コンピュータゲーム応用、自然言語生成、概念・自然言語辞書、ウェブからの知識獲得、人文科学・認知科学・人工知能学際アプローチ、コンテンツとメディアの社会的流通調査とシステム構築
教授・佐々木 淳*	高信頼システムの設計法、システム開発プロセスのモデル化、地域における医療・福祉情報共有システム、生活習慣病予防支援システム、地域の魅力発見・発信システム、SNS データを用いた観光スポット特性の可視化
教授・布川 博士	社会に具体的に存在する課題を、その分野の中で見出し、現状を調査し、情報技術(IT)により問題を解決する方法を研究します。既存の IT で解決できなければ、そのための IT の開発も行います。IT を方法としても目的としても、つまりメディアとして研究開発します。
教授・堀川 三好	CPS によるデータ駆動型社会の実現に関する研究、BLE 位置測位と PDR を用いたハイブリッド型屋内位置測位技術、ウェアラブルデバイスを用いた新しいサービス構築、ものづくりにおける ICT 活用、農業分野におけるドローン活用
准教授・市川 尚	インストラクショナルデザインに基づく教授/学習支援システム、看護教育における e ラーニング、観光情報システム
准教授・植竹 俊文	企業・社会に内在する情報資源(知識、技術、ノウハウ等)を見える化、情報資源を活用し業務を改善できるシステム提案、経営工学・情報工学などの手法・理論を用いて情報システム構築・評価
准教授・西崎 実穂	生態学的アプローチに基づく知覚と行為、デザイン(グラフィックデザイン、アクセシブルデザイン、データベース、AR アプリケーション)
准教授・高木 正則	教育・学習支援のためのシステム開発(eポートフォリオ、e テスティング、作問学習支援システム、協調学習支援システム)、ICT を活用した教育の実践と評価、圃場モニタリングシステムを活用した農業教育支援
准教授・松田 浩一	センサ技術を応用した郷土芸能伝承支援のための技能の分析・可視化、センサ技術を応用したリハビリ効果の分析・可視化、3次元モデルのモデリングインタフェース
講師・小倉 加奈代	次世代コミュニケーションメディアの開発、コミュニケーション支援システム、日常生活をより便利に快適にするための支援技術、人間の心理・行動特性に着目したフィッシング犯罪防止対策および認証システム、批判的思考力育成と情報セキュリティ教育
講師・佐藤 究	分散協調作曲システムの分析と設計、特別支援教育のための書字学習支援システム、遠隔地デザイン作業支援システム、実物体指向仮想化学実験システム、感性的インタラクションを可能とする実世界指向デバイス、演習課題レポート管理システム
講師・富澤 浩樹	情報システムの分析・設計・運用法、情報システム視点からのデジタルアーカイブの構築と運用、まちづくり・観光まちづくりのための地域情報の収集と利活用法、実験社会科学
講師・西岡 大	情報セキュリティに関する安心感の研究、不快なインタフェースを利用したユーザに気付きを与える研究、主観的なプライバシー情報に関する研究
講師・南野 謙一	創造的活動における知識の組織的活用手法、創造的な課題解決を支援するグループ発想支援、研究活動支援のための協調的な学習方式、研究成果を生産現場に生かすための農作物早期警戒情報の伝達方式

*印の教員は、令和 4 年 3 月退職予定です。

博士後期課程

I 募集人員及び入学時期

ソフトウェア情報学研究科 ソフトウェア情報学専攻 博士後期

区 分	募集人員	入学時期
令和3年10月入学	若干名	令和3年10月
第1次募集	10名（社会人・外国人留学生を含む）	令和4年4月及び令和4年10月 （志願者が出願時に選択）
第2次募集	第1次募集の結果により11月中旬に本学 ホームページにおいて発表します。	令和4年4月又は令和4年10月 （志願者が出願時に選択）

II 出願資格

1 一般

次の(1)～(6)のいずれかに該当し、かつ、(7)に該当する者

- (1) 修士の学位又は専門職学位を有する者及び令和4年3月末日（令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日）までに取得見込みの者
- (2) 外国の大学の大学院において、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を取得した者及び令和4年3月末日（令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日）までに取得見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月末日（令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日）までに授与される見込みの者
- (4) 我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び令和4年3月末日（令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日）までに授与される見込みの者
- (5) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）
- (6) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、令和4年4月1日（令和3年10月入学の場合は、令和3年10月1日、令和4年10月入学の場合は、令和4年10月1日）現在で24歳に達しているもの
- (7) 日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）については、次の各項について、1つ以上該当する者
 - ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
 - ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者（別表 p. 22）
 - ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

2 社会人

次のすべてを満たす者

- (1) 志願区分「一般」の出願資格に該当する者で、令和4年3月末日（令和3年10月入学の場合は、令和3年9月末日、令和4年10月入学の場合は、令和4年9月末日）までに、企業、官公庁、教育機関又は研究機関等に2年以上の在職経験（志願区分「一般」の出願資格の(1)から(6)

までのいずれかに該当した後のものに限る)を有し、かつ、令和4年4月1日(令和3年10月入学の場合は、令和3年10月1日、令和4年10月入学の場合は、令和4年10月1日)現在で24歳に達している者

(2) 日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)については、次の各項について、1つ以上該当する者

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
- ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者(別表 p. 22)
- ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

3 外国人留学生

日本国籍を有しない者(日本国永住者を除く)で、志願区分「一般」の出願資格の(1)から(5)までのいずれかに該当し、かつ、次の各項について、1つ以上該当する者

- ① 公益財団法人日本国際教育支援協会・独立行政法人国際交流基金が実施する日本語能力試験レベルN2以上に、出願期間最終日の前日から起算して5年前の日以降に合格している者
- ② 本研究科の指定する英語検定試験で、基準得点以上の得点を取得した者(別表 p. 22)
- ③ 英語を公用語とする国に永住する資格を持っている者

(別表)【本研究科の指定する英語検定試験についての基準】

資格名称	基準	認定団体
TOEFL	(PBT) 463点以上 (iBT) 50点以上	一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会
TOEIC	480点以上	一般財団法人 国際ビジネスコミュニケーション協会

※出願期間最終日の前日から起算して2年前の日以降に受験していること

※その他の資格については、教育支援室入試グループにお問い合わせください。

Ⅲ 出願前の事前相談

出願予定者は、入学後の研究計画等について指導を受けようとする教員に、出願前に事前相談を必ず行い、その内容を研究計画書(F票)に記入するとともに、事前相談の内容に関し、指導希望教員の捺印をもらってください。あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録(FAXの写し、電子メールのハードコピー等)を添付してください。

照会先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市字菓子 152-52 Tel 019-694-2014 (直通)

Ⅳ 出願資格審査

志願区分「一般」の出願資格(5)又は(6)に該当することにより出願しようとする者(当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。以下同じ)は、事前に資格審査を行うので、次の書類を郵送(書留速達)により、提出してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究科博士後期課程出願資格審査申請書類在中」と朱書してください。

1 提出書類

出願資格1の(5)で出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」、「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む。）	出願資格1の(6)で出願しようとする者（当該出願資格に該当し「社会人」の志願区分で出願しようとする者を含む。）
<ul style="list-style-type: none"> ① 出願資格審査申請書（本学所定） ② E票 履歴書（本学所定） ③ 成績証明書（出身学校所定） ④ 卒業（修了）証明書（出身学校所定） ⑤ 研究成果レポート 研究成果に関する要旨、ワープロ可、様式自由 ⑥ 研究成果レポートに関する説明資料 研究論文がある場合は、そのリスト及び論文別刷を添付してください。 ⑦ F票 研究計画書（本学所定） ⑧ G票 業績レポート（本学所定） （志願区分「社会人」で出願する者に限る） ⑨ 大学又は研究所等において2年以上研究に従事した証明書 ⑩ 大学又は研究所において行った研究の要旨 ⑪ 日本語能力試験レベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し（日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）） ⑫ 本人のあて先記入の角形2号封筒 （※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 出願資格審査申請書（本学所定） ② E票 履歴書（本学所定） ③ 成績証明書（出身学校所定） ④ 卒業（修了）証明書（出身学校所定） ⑤ 研究成果レポート 研究成果に関する要旨、ワープロ可、様式自由 ⑥ 研究成果レポートに関する説明資料 研究論文がある場合は、そのリスト及び論文別刷を添付してください。 ⑦ 日本語能力試験レベルN2以上の「認定結果及び成績に関する証明書」または、本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書または、パスポートの写し（日本国籍を有しない者（日本国永住者を除く）） ⑧ 本人のあて先記入の角形2号封筒 （※資格審査書類を国内へ速達で返送するために必要な金額分の郵便切手を貼り付けのこと）

※国外への資格審査書類の返送については、「Ⅲ 出願前の事前相談」の照会先へお問い合わせください。

2 提出期間等

(1) 提出期間

令和3年10月入学・第1次募集：

令和3年5月27日(木)から令和3年5月31日(月)午後4時必着

第2次募集：

令和3年12月1日(水)から令和3年12月3日(金)午後4時必着

（上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください）

ただし、上記出願期間最終日の午後4時を過ぎて到着したものでも、国内郵便で令和3年10月入学及び第1次募集の場合は5月29日(土)まで、第2次募集の場合は12月1日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

(2) 出願資格認定結果の通知

出願資格認定結果は、提出書類とともに下記期日に郵送で本人あてに通知します。

令和3年10月入学・第1次募集：令和3年6月7日(月)

第2次募集：令和3年12月13日(月)

なお、認定された者は、所定の期間内に出願手続きをしてください。

提出先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52 TEL 019-694-2014 (直通)

V 出願手続等

1 出願期間

令和3年10月入学・第1次募集：

令和3年6月21日(月)から令和3年6月24日(木)午後4時必着
第2次募集：

令和4年1月19日(水)から令和4年1月21日(金)午後4時必着

(上記期間を過ぎて到着したものは受理しませんので、余裕を持って提出してください)

ただし、上記出願期間最終日の午後4時を過ぎて到着したものでも、国内郵便で令和3年10月入学及び第1次募集の場合は6月22日(火)まで、第2次募集の場合は1月19日(水)までの消印があり、かつ、書留速達郵便のものに限り受理します。

2 出願方法

本学大学院の出願書類等を封筒に入れて出願してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究科博士後期課程出願書類在中」と朱書し、一般・社会人・外国人留学生の別を明記してください。また、裏面には住所・氏名を記入してください。

(1) 郵送する場合 「書留速達による郵送」としてください。

出願書類等送付先

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

(2) 持参する場合 受付時間：午前9時から午後4時まで（午前11時45分から午後1時を除く）

出願書類等受付場所

岩手県立大学 本部棟

〒020-0693 岩手県滝沢市巢子 152-52

※ 上記の受付時間・受付場所以外では一切受け付けません。

3 出願書類

出 願 書 類	一 般	社 会 人	留 外 学 国 生 人	摘 要
A票 入学志願票	○	○	○	・必要事項を漏れなく記入してください。
【日本国内で入学検定料を振り込む場合】 入学検定料（払込受付証明書） 貼付用紙	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ・本学所定の「振込依頼書」を使用し、必要事項を記入のうえ、30,000円を添えて必ず金融機関の窓口で納入してください。 ・ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。 ・払込後、金融機関から受け取った「払込受付証明書」の受付金融機関日附印欄の押印を確認のうえ、所定の欄に貼付してください。 なお、「振込金領収証」は入学志願者が保管するものです。貼り間違えないようにしてください。 ・令和3年10月入学者及び第1次募集の検定料は令和3年6月7日(月)～6月24日(木)までの期間に、第2次募集の検定料は令和4年1月4日(火)～1月21日(金)までの期間に振込みをしてください。 なお、既納の検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 <ul style="list-style-type: none"> (エ) 検定料を振り込んだが出願しなかった場合 (オ) 検定料を振り込んだが出願が受理されなかった場合 (カ) 検定料を二重に振り込んだ場合 上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず岩手県立大学教育支援室入試グループ(Tel 019-694-2014)まで連絡してください。返還の際には、「払込受付証明書」または「払込金領収書」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。 4. 入学検定料の納付方法もご参照ください。
【日本国外から入学検定料を送金する場合】 入学検定料外国送金証明書の写し	△	△	△	<ul style="list-style-type: none"> ・願書提出時までに、外国送金を取り扱っている最寄りの銀行から、入学検定料30,000円を、28ページに記載の銀行口座に送金してください。 (送金については28ページを参照してください) ・米ドル等他の外貨建ての送金を行わないでください。日本円以外の外貨で送金した場合、出願を認めません。 ・送金に係る振込手数料は全て振込み者が負担してください。また、経由銀行がある場合は、経由銀行において手数料がかかります。これらの手数料も振込者に負担していただきますので、送金時に、送金銀行に対し、「振込み手数料は全て振り込み者が負担する。」旨を伝えてください。 ・送金後、金融機関から受け取った「外国送金証明書」の写しを出願書類と一緒に提出してください。 なお、送金した検定料は、次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。 <ul style="list-style-type: none"> (エ) 検定料を送金したが出願しなかった場合 (オ) 検定料を送金したが出願が受理されなかった場合 (カ) 検定料を二重に送金した場合 上記(ア)～(ウ)に該当する場合は、必ず岩手県立大学教育支援室入試グループ(Tel 019-694-2014)まで連絡してください。返還の際には、「外国送金証明書」が必要となる場合がありますので、大切に保管しておいてください。 4. 入学検定料の納付方法もご参照ください。
B票 受験票	○	○	○	・必要事項を漏れなく記入してください。
C票 写真票	○	○	○	・縦4cm×横3cmの写真（正面上半身無帽、背景無し、出願前3ヶ月以内に撮影したもの）の裏面に志望研究科、課程、氏名を記入し、それぞれの写真貼付欄にはがれないよう全面をのり付けしてください。
D票 住所票	○	○	○	・合格通知等の通信用に用いますので、郵便番号、住所、氏名を記入してください。
E票 履歴書	○	○	○	・必要事項を漏れなく記入してください。
成績証明書	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・出願資格に該当する出身大学の学長（大学院研究科長）又は出身学校長が作成し、厳封したもの（外国語で作成されたものは除く）を提出してください。 なお、成績証明書の成績欄に編入学等により認定されている科目がある場合は、編入学前の学校の成績証明書も提出してください。
F票 研究計画書	○	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・必要事項を漏れなく記入してください。 ・事前相談内容を記入のうえ、指導希望教員の捺印をもらうか、あるいは、事前相談が行われたことを確認することができる通信記録（FAXの写し、電子メールのハードコピー等）を添付してください。
G票 業績レポート		○		・必要事項を漏れなく記入してください。

出願書類	一般	社会人	留外国生	摘要
修士課程の修了（見込）証明書	○	○	○	・出身大学（出身学校）所定のものを提出してください（入学年月日が記載されているもの）。 ・3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
修士の学位授与（見込）証明書	△	△	△	・学位授与機構が発行する修士の学位授与（見込）証明書を提出してください。 ※ 上記の修了証明書を提出した場合は、不要です。 ・3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
卒業（修了）証明書	△	△	△	・出願資格1の(5)、(6)（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）で出願する者は提出してください。 ・出身大学（出身学校）所定のものを提出してください（入学年月日が記載されているもの）。 ・3ヶ月以内に発行されたものを提出してください。
修士論文等	○	○	○	・修士論文（コピー可）を提出してください。ただし、修士論文がない場合は、これに代る研究成果を表す論文等を提出してください（研究成果レポート可）。
H票 推薦書		○		・本学所定の様式により、現職場の所属長等が作成し、厳封したもの（外国語で作成されたものは除く）を提出してください（任意提出）。
研究業績一覧	○	○	○	・著書、論文、国際会議、研究発表、特許等に分類し、それぞれ査読の有無を明記の上、共著者名も含め、A4用紙に記入して提出してください。（様式任意）
主要論文別刷	○	○	○	・上記「研究業績一覧」に対応する番号を付与した主要論文別刷（またはコピー、特許等の文献も含む）3編以内を提出してください。
住民票の写し又は住民票記載事項証明書	△	△	○	・外国籍を有するものは、市区町村長の発行する住民票の写し又は住民票記載事項証明書（在留資格の記載があるもの）を提出してください。なお、市区町村発行の住民票の写し又は住民票記載事項証明書が提出できない場合には、それに代わるもの（パスポートの氏名・生年月日が記載された箇所・査証等の写し）を提出してください。
・日本語能力試験レベル N2 以上の認定結果及び成績に関する証明書 ・本研究科が指定する英語検定試験の成績に関する証明書 ・パスポートの写し	△	△	△	・日本国籍及び日本における永住資格を有しない者はいずれかを提出してください。 ・英語検定試験の成績に関する証明書を提出する場合は TOEFL のスコアレポート (Examinee Score Report) 又は、TOEIC のスコアレポート (Official Score Certificate) 本紙を提出してください。なお、スコアレポートは受験票送付の際に返却します。
大学又は研究所等において2年以上研究に従事した証明書	△	△	△	・出願資格1の(5)（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）で出願する者は提出してください。
大学又は研究所等において2年以上行った研究の要旨	△	△	△	・出願資格1の(5)（当該出願資格に該当し「社会人」又は「外国人留学生」の志願区分で出願しようとする者を含む）で出願する者は提出してください。
I 票 受験票送付用封筒貼付用紙	○	○	○	・「受験票」送付用として使用します。郵便番号・住所・氏名を記入し、374 円の切手を貼った上で、点線に沿って切り取り、長形 3 号封筒に貼り付けて提出してください。 ・日本以外の国へ受験票の送付を希望する場合は、 I 票を使用せず、注意事項（日本以外の国へ受験票を送付希望の場合） を読み、送付用封筒を準備してください。
<p>※ 作成にあたって、本学所定の様式の変更は認められません。</p> <p>※ △については、該当する者が提出してください。 外国語で作成された書類には、必ず日本語訳を添付してください。翻訳は本人でもかまいませんが、翻訳者が署名のうえ、その連絡先（電話番号）を記入してください。</p> <p>※ 郵便料金の改定が行われた場合は、新料金の切手を提出してください。</p>				

◎ 上記書類を封筒に入れて、出願してください。封筒表面に「ソフトウェア情報学研究科博士後期課程
出願書類在中」と朱書し、一般・社会人・外国人留学生の別を明記してください。

注意事項（日本以外の国へ受験票を送付希望の場合）

日本以外の国へ受験票を送付希望の場合は、下記手順に沿って、送付用ラベル・送付用封筒・国際返信用切手を準備してください。

- (1) 本学から受験票を送付する際はEMS（国際スピード郵便）を使用します。最寄りの郵便局等でEMS専用ラベルを準備してください。EMS専用ラベルは、お届け先（受験生本人）欄のみ記入してください。
※日本からEMSで送る際に、EMS専用ラベルに同封されている2枚より多く、税関告知書が必要な場合やインボイスが必要な場合は、同封してください。
- (2) 封筒は、EMS専用封筒（郵便局等で販売）又は国別のEMSのサイズ・重量の規定内で内容品を保護するために十分な包装材を使用してください。
※EMSでは郵送中に封筒に傷がつく等の破損も考えられますので、EMS専用封筒が推奨されます。
- (3) 本学からEMSで郵送する際の料金は、他の受験者と同様に、本人負担となります。日本からEMSで郵送するのに必要な金額分の国際返信用切手を購入し、同封してください。日本からEMSで郵送する料金は下記一覧を参考にしてください。

重量	第1地帯 アジア	第2-1地帯 北中米・中近東・オセアニア	第2-2地帯 ヨーロッパ	第3地帯 南米・アフリカ
500gまで	1,400円	2,000円	2,200円	2,400円

※受験票は試験日の1週間前程度には届くように送付します。来日日程により、受験票の受取りが難しい場合は、下記連絡先へご連絡ください。

岩手県立大学教育支援室入試グループ

TEL：019-694-2014 MAIL：ipu-nyushi@ml.iwate-pu.ac.jp

4 入学検定料の納付方法

- (1) 日本国内で振り込む場合
本学所定の「振込依頼書」を使用し、必要事項を記入のうえ、**必ず金融機関の窓口で納入してください。**
ATM（現金自動預払機）は使用しないでください。
払込後、金融機関から受け取った「払込受付証明書」の受付金融機関日附印欄の押印を確認のうえ、「② 入学検定料（払込受付証明書）貼付用紙」に貼付してください。
- (2) 日本国外から送金する場合
次の要領に従って、現地の金融機関から入学検定料を送金してください。
日本国内外の金融機関で発生する**全ての手数料は依頼人負担になります**。送金手続を行う現地の金融機関に手数料の額を確認し、入学検定料30,000円が指定口座に到着するように手続してください。
送金後、**外国送金依頼書の写しを出願書類等と一緒に提出してください。**
送金には時間がかかりますので早めに手続を行い、必ず出願受付期間内に指定口座に到着するようにしてください。

送金種類 (Type of Remittance)	電信送金 (Telegraphic Transfer)
支払方法 (Payment Instruction)	通知払 (Advice and Pay)
円為替手数料 (Lifting Charge)	依頼人負担 (Payer Account)
送金金額 (Amount)	¥30,000
メッセージ (Message)	志願者氏名 (Applicant Name)
送金目的 (Purpose of Remittance)	入学検定料 (Application Fee)

送金先の 金融機関 Financial institution of the remittance	銀行名 (Bank Name)	岩手銀行 (The Bank of Iwate, Ltd.)
	支店名 (Branch)	県庁支店 (Kenchō Branch)
	銀行住所 (Branch Address)	〒020-0023 岩手県盛岡市内丸 10-1 (10-1 Uchimaru, Morioka, 020-0023, Japan)
	口座番号 (Account Number)	普通預金 2000920 (Ordinary Deposit Account No.2000920)
	受取人名義 (Payee's Name)	公立大学法人岩手県立大学理事長 千葉 茂樹 (SHIGEKI CHIBA Chairman of Public University Corporation Iwate Prefectural University)
	スウィフト・コード (Swift Code)	BAIWJPT

5 出願上の注意事項

- ・ 出願書類に不備がある場合は受理しません。
- ・ 出願書類の記入に当たっては、黒色ボールペン又は黒色インクを使用し、正しく明確に記入してください。
- ・ 出願後の書類の内容変更はできません。ただし、氏名、住所、電話番号に変更があった場合は、岩手県立大学 教育支援室入試グループまで連絡してください。
- ・ 一度受理した出願書類は返還しません。
- ・ 受験票は、出願受理後に本人あて送付します。試験 3 日前までに受験票が届かない場合は、岩手県立大学 教育支援室入試グループまでお問い合わせください。
- ・ 出願書類に虚偽の記載をした場合は、入学後であっても入学の許可を取り消します。
- ・ 本学に入学を志願する者で、身体に障害があり、受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合は、下記期日までに岩手県立大学 教育支援室入試グループに相談してください。

令和 3 年 10 月入学・第 1 次募集：令和 3 年 5 月 24 日(月)まで

第 2 次募集：令和 3 年 12 月 10 日(金)まで

VI 選抜方法

入学者の選抜は、面接の結果及び出願書類等を総合して判定します。

面接は、研究成果の発表を含みます。

VII 選抜日時・試験場等

1 選抜日時

令和3年10月入学・第1次募集：

令和3年7月10日（土）

第2次募集：

令和4年2月18日（金）

※ 各受験者の面接日程（日時・入室時間・面接開始時刻等）の詳細については、受験票送付時に通知します。

2 試験場

岩手県立大学

案内図（39ページ）を参照してください。

3 受験上の注意事項

- ・ 「受験票」は試験期間中必ず携帯し、係員の請求があった場合は、提示してください。
- ・ 当日に受験票を忘れた者は、速やかに試験実施本部で仮受験票等の交付を受けてください。また、受験票は、個人成績の開示請求の際に必要なため、試験後も大切に保管してください。
- ・ 面接の際は、指定された時刻までに受付を済ませ、待機してください。なお、指定された面接開始時刻に不在であった場合には、欠席したものとして取り扱います。
- ・ 面接を受けなかった者は、それ以後の受験はできなくなります。また、受験した全ての試験の成績を無効とし、入学者選抜の対象から除きます。
- ・ 携帯電話等は教室に入る前に電源を切っておいてください。
- ・ 試験場における受験者間の物品の貸与は一切認めません。
- ・ 昼食の販売は行いませんので、各自で準備してください。
- ・ 試験場及びその周辺で合格電報等の受付を行う者がいても、本学とは一切関係がなく、トラブル等が生じて責任を負えないので注意してください。
- ・ 試験実施日の前日の午後に関り、岩手県立大学構内の下見はできますが、建物内への出入りはできません。
- ・ その他必要が生じた場合には、受験票送付の際に併せて通知します。

VIII 教育研究領域 (異動等により変わる場合もありますので、事前にご確認ください)

研究キーワード (◎主となるキーワード、○副となるキーワード)

データ・数理科学コース

教員	ウェブ情報学・サービス情報学	オペレーションズリサーチ	オペレーティングシステム	教育工学	組込みシステム	経営工学	経営情報	最適化	社会資本リスクマネジメント	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	情報理論	数理情報	数理統計	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	ソフトウェア工学	パターン認識	並列・分散処理	モバイルネットワーク	リスク分析
教授 猪股 俊光				○										◎			○	○				
教授 高田 豊雄												◎	◎	○								
教授 王家宏									◎							○				◎	○	
教授 竹野 健夫		○				◎	○				○				○							
准教授 大堀 勝正								○							○							◎
准教授 岡本 東		○				○		◎			○											
准教授 児玉英一郎	○													◎		○				○		
准教授 田村 篤史				◎									○	○	○					○		
講師 山田 敬三								◎				○	○	○					○			
助教 片町 健太郎		○										○	◎			○						

コンピュータ工学コース

教員	インターネット放送	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	オーバレイネットワーク	オペレーティングシステム	音声情報	画像情報処理	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	組込みシステム	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータネットワーク	コンピュータビジョン	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	情報システム	情報セキュリティ	センサーネットワーク	ソフトウェア科学	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	ネットワークプロトコル	ヒューマンコンピュータインタラクション	並列・分散処理	モバイルネットワーク			
教授 蔡 大維		○										◎																						
教授 佐藤 裕幸					○		○					○		○																◎				
教授 橋本 浩二				○										◎													○			○				
教授 Bhed Bahadur Bista																					◎						◎				◎			
教授 馬淵 浩司																	○								◎									
准教授 新井 義和											◎															○								
准教授 今井 信太郎											○				○							◎					○							
准教授 齊藤 義仰	◎														◎													○				○		
准教授 鈴木 彰真						○	○	○	○		○	○										○	○		○	○								
講師 伊藤 久祥										○	○																	◎						
講師 佐藤 永欣			○	○											○							◎					○							
講師 杉野 栄二					◎							○										○										○		
講師 成田 匡輝			○																	○	◎	○												

人工知能コース

教員	医療福祉情報	ウェブ情報学・サービス情報学	音声情報	画像情報処理	感性データベース	行動環境認識	コンピュータグラフィックス	コンピュータネットワーク	コンピュータビジョン	最適化	視覚メディア処理	自然言語処理	情報検索	知覚情報処理	知識ベースシステム	知能ロボティクス	地理情報システム	パターン認識	ヒューマンコンピュータインタラクション
教授 伊藤 慶明			◎							○		○						○	
教授 亀田 昌志				◎			○				○								
教授 土井 章男	○			○			○			○	○				◎				○
教授 Basabi Chakraborty				○					○			○						◎	
准教授 樽松 理樹			○									◎			○				○
准教授 小嶋 和徳				◎			○			○									○
准教授 眞田 尚久				○							◎			◎					
准教授 戴 莹				○	◎				○	○	○								○
准教授 David Ramamonjisoa		○		○					○			○							○
准教授 羽倉 淳													○			◎			○
准教授 Prima Oky Dicky Ardiansyah				◎							◎			○			○		○
准教授 松原 雅文											◎	○							

社会システムデザインコース

教員	eラーニング	医療福祉情報	インターネット放送	ウェアラブル機器	ウェブ情報学・サービス情報学	観光情報	感性データベース	教育工学	教授学習支援システム	経営工学	経営情報	コンピュータグラフィックス	自然言語処理	社会システム	情報システム	情報セキュリティ	情報デザイン	スキルサイエンス	センサーネットワーク	地域情報化	知識ベースシステム	地理情報システム	ヒューマンコンピュータインタラクション	リスク分析
教授 阿部 昭博					○										◎					○				
教授 小方 孝													○	○							◎			
教授 佐々木 淳		○	○		○	○									○					◎		○		○
教授 布川 博士					○	○																		
教授 堀川 三好				○							○			○					◎					
准教授 市川 尚	○							◎	○						○									
准教授 植竹 俊文										◎	○				◎					○				
准教授 西崎 実穂																	◎							
准教授 高木 正則	◎							◎	◎						○									
准教授 松田 浩一		○						○			◎							◎					◎	
講師 小倉 加奈代													○		○	○							◎	
講師 佐藤 究								○	○														◎	
講師 富澤 浩樹						○								◎						○				
講師 西岡 大													○										○	
講師 南野 謙一							○							◎								○		○

研究テーマ

データ・数理科学コース

教員	研究テーマ
教授・猪股 俊光	組込みソフトウェア(車載ソフト、ロボット制御ソフトなど)の高信頼化手法、組込みシステムのモデリングと解析、IoT機器の制御法、初心者のためのプログラミング学習法
教授・高田 豊雄	ネットワークセキュリティ全般、個人認証方式、モバイル機器のセキュリティ、マルウェア対策、通信路符号化、HCIの知見を採り入れたセキュリティシステム・ツールのセキュリティ改善
教授・王家宏	インフラに依存しないクラウドサービス構築技術、RAID技術を用いたオンラインストレージシステム、災害地におけるアドホックネットワーク用ルーティングアルゴリズム、プライバシーを保護した分散データマイニング
教授・竹野 健夫	数理計画問題、最適化、スケジューリング、確率モデル、在庫管理、意思決定支援に関するモデリングと解法の提案。また、それらを組み込んだ情報システムの構築。
准教授・大堀 勝正	数理統計、数理モデル、リスク分析、社会資本(道路、鉄道等)におけるリスクマネジメントおよび経営資源配分
准教授・岡本 東	組合せ最適化、生産・物流スケジューリング(ルーティング)、生産工程における測位技術の応用、ソフトウェアの部品化再利用、地域の公共機関・団体のための情報システム、家畜の交配計画システム
准教授・児玉 英一郎	Webリソースの効率的な発掘と利活用、Linked Dataのメンテナンスや利活用、分散環境における情報セキュリティ、オノマトペの収集と分類及び利活用、情報処理における代数的整数論の利活用
准教授・田村 篤史	探究的な学習に対応した非ユークリッド幾何教材の開発。Juliaを用いた大学幾何教材の開発。数学的能力・才能に関する基礎研究および数学才能教育に関する理論的研究。
講師・山田 敬三	遺伝的アルゴリズムを用いた特性発見、遺伝的アルゴリズムを用いた組み合わせ最適化、マルチエージェントシステムを用いた推薦、項目反応理論の推薦への活用、階層分析法を用いた推薦
助教・片町 健太郎	携帯端末を活用した出席確認システム及び安否確認システム、対称群の互換列についての教え上げ及び列挙

コンピュータ工学コース

教員	研究テーマ
教授・蔡 大維	イヤホン型ウェアラブルビジターガイド端末と総合管理システムの実用化、世界的に注目されているウェアラブル技術とワイヤレス充電技術を融合させ、自動観光案内のウェアラブル端末及び高度な総合充電管理装置の開発を行う。
教授・佐藤 裕幸	高性能プロセッサの組込み系での活用技術、無人搬送車の自律走行に向けた組込み系リアルタイム画像処理、大規模システムでの高性能プロセッサ活用技術(画像処理、データベース処理、センサ信号処理等)
教授・橋本 浩二	映像・音声ライブ中継用バックエンドシステムの研究開発、利用者環境に応じて柔軟な構成を可能とするテレビ会議システムの要素技術、複数の送信元を想定した分散型ライブ中継システムのユーザインターフェース
教授・Bhed Bahadur Bista	次世代情報ネットワークのネットワークプロトコル、モバイルネットワークなどとエネルギー効率のよい情報ネットワーク
教授・馬淵 浩司	宣言型計算モデルに基づく問題解決、宣言型計算モデルに基づく自然言語理解、自動化を追求したeラーニングシステムの構築、既存楽曲の特徴を利用した自動楽曲生成、雪道の自動車運転におけるヒヤリハット防止のためのシミュレーション分析
准教授・新井 義和	局所的通信デバイスの開発、複数ロボットの協調、ロボット間の衝突回避、ロボットの行動認識、ロボットナビゲーション、自動車運転支援システム、車々間/路車間通信デバイスの開発、センサネットワークの構築
准教授・今井 信太郎	柔軟なノード間連携により大量のデータ処理を実現するセンサシステム基盤技術、小規模農家支援のためのセンサシステム、大規模災害時の円滑な通信を実現する不揮発性ネットワークング技術
准教授・齊藤 義仰	インタラクティブなインターネット放送システムと応用研究、人間的な側面からの安全運転支援、効果的なインターネット広告表示、地域課題へのICT応用
准教授・鈴木 彰真	オノマトペを用いた食品の感性検索、地域特有料理及び提供店舗の検索システム、振動/圧力による車の接近告知システム、SS超音波を用いた測位システムの研究、SS超音波を用いたロボットモニタリングシステム
講師・伊藤 久祥	つながり感通信に適した映像の解像度の評価、学習者の視線による授業評価指標の開発、QRコードを利用した大規模授業における提出物の管理手法、音声認識を用いた簡易的な視野欠損検査手法の開発
講師・佐藤 永欣	各種センサを利用したスポーツ指導支援、GNSSによる走行軌跡を用いた地図自動更新、P2P防犯カメラネットワーク、分散検索システム
講師・杉野 栄二	オペレーティングシステム、組込OS、並列分散OS、OS記述のためのプログラミング言語
講師・成田 匡輝	サイバー攻撃の監視、ダークネット監視システム、スマートフォンのセキュリティ、個人認証方式、SNS利用者の個人情報保護、侵入検知システム、パスワード管理

人工知能コース

教員	研究テーマ
教授・伊藤 慶明	ビデオ中で検索語が話されている区間を特定する技術の研究、音声認識技術の研究、運転中のドライバーとの雑談対話システムの研究。
教授・亀田 昌志	ノルム正規化に基づいた超解像におけるテクスチャの鮮鋭化、レート vs.歪特性の観点でのサブバンド符号化のための最適帯域分割、超解像を利用した高精細画像に対する新画像符号化方式、質感の改善を定量的に評価可能な画像特徴量の提案

教員	研究テーマ
教授・土井 章男**	医師が容易に使用可能な 3 次元画像可視化システムや、整形外科向けの術前・術中支援システムの研究開発を行っている、また、同時に、各システムに必要な基盤技術として、可視化、コンピュータグラフィックス、画像処理の基礎研究を行っている。
教授・Basabi Chakraborty*	1) 顔認識、署名認識、gait 認識など認証技術および一般的パターン認識問題に関する研究、2) 時系列データ解析、ソフトコンピューティングを用いた最適化問題解決、3) ソーシャルメディアデータ解析
准教授・樽松 理樹	専門家による評価結果を用いた特許公報からの課題・手段推定支援手法の提案、語感と楽曲情報を利用した音声合成手法の提案、救急外来トリアージ支援システムの検討、多様な方言に対応した音声認識システムの開発
准教授・小嶋 和徳	進化計算の大規模並列化に関する研究、進化計算を用いた画像中の物体検出に関する研究、野鳥の品種識別に関する研究、情景画像からの情報抽出に関する研究
准教授・眞田 尚久	視覚の脳情報処理メカニズムの研究、脳内における多感覚情報の統合メカニズムに関する研究、深層畳み込みニューラルネットワーク (DCNN) の中間層における情報表現、視覚運動情報による質感の脳内表現と画像処理への応用
准教授・戴 瑩	・人間の感性を考慮する画像・映像などの検索や編集などに関する研究 ・ big sensor data を用いた状況推定に関する研究 ・ 顔の検出と認識や、表情から感情の認識などに関する研究
准教授・David Ramamonjisoa	金融情報から投資意思決定支援システムの研究、トピックモデルを用いてニュース記事のコメントや論文などの話題と傾向分析、機械学習によるデータ解析に関する研究。
准教授・羽倉 淳	自律ロボットのための知覚メカニズム、交通事故防止のためのパーソナライズド・セーフティ・システム、多次元時系列データからの特徴抽出に関する研究、行動観察に基づく心理状態認識メカニズム
准教授・Prima Oky Dicky Ardiansyah	赤外線・可視光線による視線計測システム、行動(顔表情、発話、傾き、顔向け、瞬き)自動観察システム (behavior coding)、生体情報センシングシステム、肢体不自由者のための意思伝達装置などの開発
准教授・松原 雅文	携帯端末向け Web 検索、文字入力、予測入力、アイズフリー入力、画像情報を利用した日本語入力、押下圧を利用した日本語入力、ニューラルネットワークを利用した日本語入力、Twitter ユーザの推薦、楽曲推薦

*印の教員は、令和 4 年 3 月退職予定です。 **印の教員は、令和 5 年 3 月退職予定です。

社会システムデザインコース

教員	研究テーマ
教授・阿部 昭博	地域情報システム(観光、まちづくり、歴史文化、生活等)の実践的研究、情報システム分析・設計法(サービスデザイン、参加型アプローチ等)、観光情報学、社会的課題への GIS 適用
教授・小方 孝	物語生成システム、自動生成コンテンツ、コンピュータゲーム応用、自然言語生成、概念・自然言語辞書、ウェブからの知識獲得、人文科学・認知科学・人工知能学際アプローチ、コンテンツとメディアの社会的流通調査とシステム構築
教授・佐々木 淳*	高信頼システムの設計法、システム開発プロセスのモデル化、地域における医療・福祉情報共有システム、生活習慣病予防支援システム、地域の魅力発見・発信システム、SNS データを用いた観光スポット特性の可視化
教授・布川 博士	社会に具体的に存在する課題を、その分野の中で見出し、現状を調査し、情報技術(IT)により問題を解決する方法を研究します。既存の IT で解決できなければ、そのための IT の開発も行います。IT を方法としても目的としても、つまりメディアとして研究開発します。
教授・堀川 三好	CPS によるデータ駆動型社会の実現に関する研究、BLE 位置測位と PDR を用いたハイブリッド型屋内位置測位技術、ウェアラブルデバイスを用いた新しいサービス構築、ものづくりにおける ICT 活用、農業分野におけるドローン活用
准教授・市川 尚	インストラクショナルデザインに基づく教授/学習支援システム、看護教育における e ラーニング、観光情報システム
准教授・植竹 俊文	企業・社会に内在する情報資源(知識、技術、ノウハウ等)に見える化、情報資源を活用し業務を改善できるシステム提案、経営工学・情報工学などの手法・理論を用いて情報システム構築・評価
准教授・西崎 実穂	生態学的アプローチに基づく知覚と行為、デザイン(グラフィックデザイン、アクセシブルデザイン、データベース、AR アプリケーション)
准教授・高木 正則	教育・学習支援のためのシステム開発(eポートフォリオ、e テスティング、作問学習支援システム、協調学習支援システム)、ICT を活用した教育の実践と評価、圃場モニタリングシステムを活用した農業教育支援
准教授・松田 浩一	センサ技術を応用した郷土芸能伝承支援のための技能の分析・可視化、センサ技術を応用したリハビリ効果の分析・可視化、3次元モデルのモデリングインタフェース
講師・小倉 加奈代	次世代コミュニケーションメディアの開発、コミュニケーション支援システム、日常生活をより便利に快適にするための支援技術、人間の心理・行動特性に着目したフィッシング犯罪防止対策および認証システム、批判的思考力育成と情報セキュリティ教育
講師・佐藤 究	分散協調作曲システムの分析と設計、特別支援教育のための書字学習支援システム、遠隔地デザイン作業支援システム、実物体指向仮想化学実験システム、感性的インタラクションを可能とする実世界指向デバイス、演習課題レポート管理システム
講師・富澤 浩樹	情報システムの分析・設計・運用法、情報システム視点からのデジタルアーカイブの構築と運用、まちづくり・観光まちづくりのための地域情報の収集と利活用法、実験社会科学
講師・西岡 大	情報セキュリティに関する安心感の研究、不快なインタフェースを利用したユーザに気付きを与える研究、主観的なプライバシー情報に関する研究
講師・南野 謙一	創造的活動における知識の組織的活用手法、創造的な課題解決を支援するグループ発想支援、研究活動支援のための協調的な学習方式、研究成果を生産現場に生かすための農作物早期警戒情報の伝達方式

*印の教員は、令和 4 年 3 月退職予定です。

博士前期課程・博士後期課程 共通事項

○博士前期課程・博士後期課程共通事項

I 合格発表

令和3年10月入学・第1次募集：

令和3年7月21日(水) 午後1時(予定)

第2次募集：

令和4年3月1日(火) 午後1時(予定)

合格者に合格通知書を送付します。また、本学のホームページ (<https://www.iwate-pu.ac.jp/>) で合格者受験番号を発表します。

電報、電話、郵便、電子メールによる問い合わせには応じません。

II 入学手続等

1 入学手続

(1) 入学手続期間

令和3年10月入学：

令和3年7月27日(火)から令和3年8月3日(火)必着

第1次募集：

令和3年10月4日(月)から令和3年10月12日(火)必着

第2次募集・令和4年10月入学：

令和4年3月4日(金)から令和4年3月10日(木)必着

(2) 入学手続方法

入学手続は、合格通知書に同封する入学手続書類、所定の封筒を用い、「書留速達による郵送」によってください。

直接持参は、下記の日程で平日の午前9時から午後4時まで(午前11時45分から午後1時を除く)の間に提出する場合に限り認めます。

令和3年10月入学：

令和3年7月30日(金)～8月3日(火)の3日間

第1次募集：

令和3年10月8日(金)～10月12日(火)の3日間

第2次募集・令和4年10月入学：

令和4年3月8日(火)～3月10日(木)の3日間

2 初年度納付金(令和3年4月1日現在)

(1) 入学金

入学手続の際は、下記の金額の入学金を納付する必要があります。

ア 岩手県内の住民 225,600円

イ その他の住民 338,400円

「岩手県内の住民」とは、本人又はその配偶者若しくは一親等の親族が入学の日の1年前(令和3年10月入学の者については令和2年10月1日、令和4年4月入学の者については令和3年4月1日、令和4年10月入学の者については令和3年10月1日)から引き続き県内に住所を有する者をいい、

「その他の住民」とは、それ以外の者をいいます。

(2) 授業料

ア 金額 年額535,800円

ただし、授業料の改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。

イ 納付方法 入学後に原則として前期(納付期限5月末日)、後期(同10月末日)の2回に分けて徴収します。

(3) その他の納付金

ア 学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険

入学時に加入の手続をする必要があります。

① 博士前期課程 保険期間 2年 保険料 2,080円

② 博士後期課程 保険期間 3年 保険料 3,120円

イ その他の納付金については、合格通知の際にお知らせします。

3 その他

(1) 入学料の免除

本学大学院に入学の時点で、次のいずれかに該当する者に係る入学料は免除します。

ア 本学の学部で3年以上在学又は卒業した者

イ 本学の盛岡短期大学部又は宮古短期大学部を卒業した者

ウ 本学の研究科を修了した者で、あらためて研究科に入学する者

エ その他理事長が特に適当と認める者

(2) 授業料等の免除、分割納付、納期変更

家庭の経済事情又は不測の災害などのため、授業料等の納付が著しく困難な学生に対する授業料の免除、分割納付、納期変更制度があります。

また、東日本大震災により、甚大な被害を受けた学生を経済的に支援するための入学料免除制度があります。なお、本学で実施してきた授業料免除制度の継続については、今年度の実施が決まり次第、速やかにホームページ等で公表する予定です。

(3) 奨学金（令和3年4月現在）

ア 日本学生支援機構奨学金

種 類	出 願 資 格	貸 与 月 額	貸与期間
第一種奨学金 (無利息)	人物・学業ともに特に優れ、経済的理由により著しく修学困難な者であること。	[博士前期課程] 50,000円、88,000円の中から希望する額を選択 [博士後期課程] 80,000円、122,000円の中から希望する額を選択	貸与開始の年月から卒業予定の最短年月までの期間
第二種奨学金 (利息付)	人物・学業ともに優れ、経済的理由により著しく修学困難な者であること。	5万円、8万円、10万円、13万円、15万円の中から希望する額を選択	

※第二種奨学金については、令和3年10月入学者は、令和4年3月まで、令和4年10月入学者は、令和4年3月まで申請することができませんのでご注意ください。

イ 岩手県立大学学業奨励金

対 象 者	月 額	期 間
大学院入学生で、将来、教育・研究者、高度の専門性を有する職業人として活動する能力があると認められる者	50,000円 (貸与)	[博士前期課程] 2年間(貸与) [博士後期課程] 3年間(貸与)
岩手県立大学に正規生として在学する私費外国人留学生で、学業、人物ともに優れ、かつ経済的援助が必要であると認められる者	130,000円 (給付)	1年間(給付)

ウ この他にも、地方公共団体等の奨学金制度があります。

(4) 早期履修制度

本学ソフトウェア情報学部4年に在籍する者で同研究科へ進学を希望する者を対象として、大学院開講科目を早期に履修できる制度があります。

(5) 短期修了

優れた研究業績を上げた者については、在学期間を短縮できる制度があります。

(6) 長期履修学生制度

学生が職業を有している等の事情により、標準修業年限（博士前期課程2年、博士後期課程3年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することができる制度があります。

この制度を利用する場合、授業料は標準修業年限分の授業料に相当する額を長期履修期間に応じて分割納付することになります。

(7) アパート等

アパート等については、大学での紹介・斡旋はしておりません。岩手県立大学生生活協同組合（電話 019-688-9571）へ直接お問合せください。また、取り扱っている物件については、ホームページ（<https://www.ipu.u-coop.or.jp/>）で閲覧することができます。

Ⅲ 個人成績の開示請求について

1 開示内容

総合点（筆記試験、面接、出願書類）を開示します。

2 開示請求の受付期間・受付時間

令和3年10月入学・第1次募集

令和3年7月21日(水)午後1時から令和3年8月20日(金)まで(土・日・祝日を除く)

第2次募集

令和4年3月1日(火)午後1時から令和4年3月31日(木)まで(土・日・祝日を除く)

※口頭による請求については午前9時から11時45分及び午後1時から4時までの間

※郵便による請求については上記受付期間の消印有効

※この期間を超えた場合、口頭及び郵送による開示請求の受付は、一切いたしません。

3 開示請求の受付場所

岩手県立大学 教育支援室入試グループ

郵送による請求の場合の送付先

〒020-0693
岩手県滝沢市菓子 152-52
岩手県立大学 教育支援室入試グループ

4 開示請求方法

(1) 口頭による請求

- ア 開示請求ができる者は、本人に限ります。
- イ 電話による開示請求は、できません。
- ウ 本人であることの確認書類として、本学の受験票の提示が必要です。

(2) 郵送による請求

次の書類を前項3の送付先に簡易書留郵便で送付してください。

- ア 個人成績開示請求書（本人を請求者とし、必ず本人が記入してください。）
※請求書の様式は、40 ページにあります。
- イ 受験票
- ウ 返信用封筒（長形3号：住所・氏名・郵便番号を明記し、404 円分の郵便切手を貼ったもの。必ず本人を名あて人としてください）

5 開示方法

(1) 口頭による請求の場合

受付場所において、口頭により開示します。

(2) 郵送による請求の場合

個人成績開示請求書に同封された返信用封筒により、開示内容を記載した通知書を簡易書留郵便により送付します。

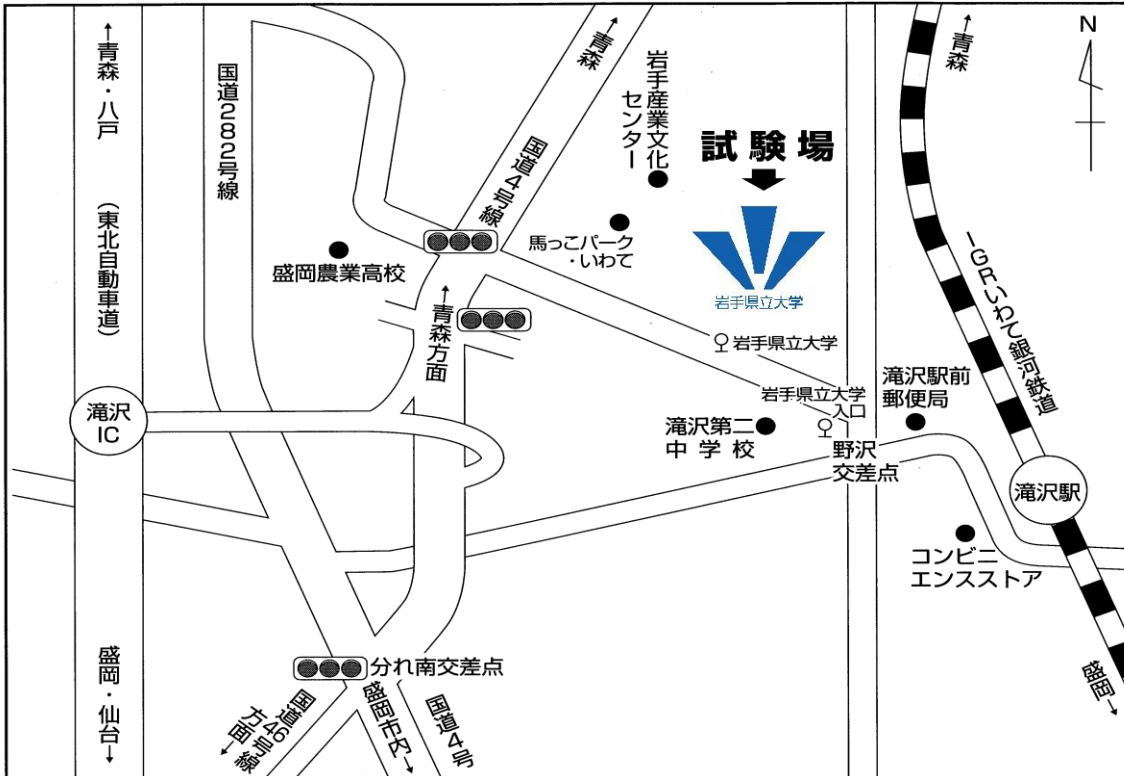
6 その他

個人情報保護条例（13年岩手県条例第7号）第10条第2項または第3項の規定による開示請求については、別に手続きが定められていますので、岩手県立大学 教育支援室入試グループに相談してください。

IV 個人情報の取り扱い

出願書類等に記載されている個人情報及び入学者選抜に用いた試験成績については、法令に基づく場合を除き、原則として第三者に提供することはありません。なお、入学者選抜に用いた個人情報については、入学者選抜に関わる業務（入学試験業務に付随する統計処理などの業務及び入学者選抜方法研究等のために行う業務などを含む。）及び入学後の教務関係（学籍、修学指導等）、学生支援関係（健康管理、奨学金申請等）、授業料等に関する業務を行うために利用します。

V 試験場案内



※滝沢ICをご利用の方は、青森方面にお進み下さい。

岩手県立大学までの交通

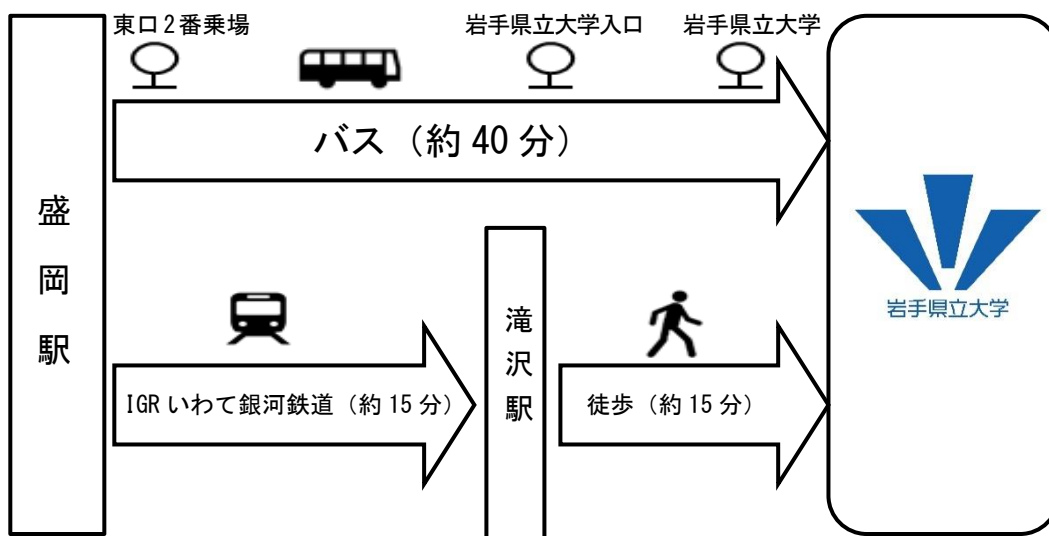
鉄道利用：盛岡駅からIGRいわて銀河鉄道 滝沢駅（約15分）、滝沢駅から徒歩約15分

バス利用：盛岡駅東口2番乗場から「県立大学行」バス（岩手県交通、約40分）

「岩手県立大学」下車（運行状況を確認のうえ利用してください。）

※「岩手県立大学入口」の次のバス停が「岩手県立大学」です。

岩手県立大学までのアクセス



盛岡駅までの所要時間（JR新幹線）

仙台駅から約40分、福島駅から約1時間40分、秋田駅から約1時間30分、
 新函館北斗駅から約2時間、新青森駅から約1時間、山形駅から約1時間45分、
 東京駅から約2時間15分

年 月 日

岩手県立大学長 殿

請求者氏名 _____

住 所 〒 _____

連絡先（電話番号） _____

個人成績開示請求書

令和3・4年度入試における個人成績について、下記のとおり開示を請求します。

記

試験区分	
受験番号	
受験者氏名	

(注)「個人成績開示請求書」は、**受験者本人が必ず自筆**してください。

<添付書類>

- ① 受験票（原本）
- ② 返信用封筒（長形3号：本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、404円分の郵便切手を貼ったもの。）

----- 以下大学記入欄 -----

受付年月日 年 月 日	発送年月日 年 月 日
担当者確認欄	

(記 入 例)

○年 ○月 ○日

岩手県立大学長 殿

請 求 者 氏 名 夢野 翼
住 所 〒 020 - 0693
岩手県滝沢市菓子 152 番地
大学アパート 1 号
連絡先 (電話番号) 019-694-2014

個人成績開示請求書

令和 3・4 年度入試における個人成績について、下記のとおり開示を請求します。

記

試験区分	令和 4 年度岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科博士前期課程
受験番号	01234
受験者氏名	夢野 翼

(注) 「個人成績開示請求書」は、受験者本人が必ず自筆してください。

<添付書類>

- ① 受験票 (原本)
- ② 返信用封筒 (長形 3 号 : 本人の住所・氏名・郵便番号を明記し、404 円分の郵便切手を貼ったもの。)

----- 以下 大 学 記 入 欄 -----

受付年月日 年 月 日	発送年月日 年 月 日
担当者確認欄	

—添付様式—

○博士前期課程

- A票 入学志願票
- B票 受験票
- C票 写真票
- D票 住所票
- E票 履歴書
- F票 研究計画書
- G票 希望研究テーマ申請書
- H票 業績レポートA
- I票 業績レポートB
- J票 業績レポートC
- K票 推薦書（社会人用）
- L票 推薦書
振込依頼書
入学検定料（払込受付証明書）貼付用紙
出願資格審査申請書
- M票 受験票送付用封筒貼付用紙

○博士後期課程

- A票 入学志願票
- B票 受験票
- C票 写真票
- D票 住所票
- E票 履歴書
- F票 研究計画書
- G票 業績レポート
- H票 推薦書
振込依頼書
入学検定料（払込受付証明書）貼付用紙
出願資格審査申請書
- I票 受験票送付用封筒貼付用紙



岩手県立大学
Iwate Prefectural University

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子 152-52
TEL 019-694-2014（直通） FAX 019-694-2035
ホームページアドレス <https://www.iwate-pu.ac.jp/>

令和3・4年度

 岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
 ソフトウェア情報学専攻博士前期課程入学志願票

		受験番号	※
<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="5"/>	ソフトウェア情報学研究科 ソフトウェア情報学専攻 博士前期課程	志願区分	
		<input type="checkbox"/> 1:一般 <input type="checkbox"/> 2:社会人 <input type="checkbox"/> 3:外国人留学生 <input type="checkbox"/> 4:推薦 <input type="checkbox"/> 5:特別推薦	
		希望入学時期	
		<input type="checkbox"/> 令和3年10月入学 <input type="checkbox"/> 令和4年4月入学 <input type="checkbox"/> 令和4年10月入学	

(フリガナ) 志願者 氏名 (漢字) (英語表記)	(濁点、半濁点は1文字を使用し、姓・名の間は1文字空け、左から詰めて記入してください。)						
	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>						
	姓			名			
Family Name			Given Name				
性別	性別		生年月日			国籍	
生年月日	<input type="checkbox"/> 1:男 <input type="checkbox"/> 2:女		<input type="checkbox"/> 3:昭和 <input type="checkbox"/> 4:平成		<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月 <input type="text"/> 日	<input type="checkbox"/> 1:日本 <input type="checkbox"/> 2:外国	
合格通知 受信場所	〒 _____ (都道府県) _____ (方)						
電話番号	<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>						局番の間には、“-” (ハイフン)を記入してください。
勤務先 (在職の者のみ記入)	(企業等名・所属・職名)						
TEL _____							
出願	(フリガナ) 学校名 (出願資格に係る出身学校)		※学校コード		学校の 種類等	国立 公立 私立 大学 短期大学 高等専門学校 専修学校 旧法学校 その他	
	学部・学科等名		<input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
資格	学校所在地		(都道府県名)				
	卒業等	<input type="checkbox"/> 1:卒業(修了)見込 <input type="checkbox"/> 2:卒業(修了) <input type="checkbox"/> 3:大学3年以上在学見込 <input type="checkbox"/> 4:大学3年以上在学		卒業等年	<input type="checkbox"/> 3:昭和 <input type="checkbox"/> 4:平成 <input type="checkbox"/> 5:令和		<input type="text"/> 年 <input type="text"/> 月

注1) ※欄は記入しないこと。

注2) 国籍が外国の場合は、志願者氏名の英語表記も記入すること。

注3) 「志願者氏名」欄以外の□の中には、該当する番号を記入すること。

注4) 「合格通知受信場所」欄は、合格通知の送付先や緊急時の連絡ができる住所、電話番号を記入すること。

注5) 「学校の種類等」欄は、該当するものを○で囲むこと。

注6) 「志願区分」の番号は、電算処理の関係により、学生募集要項本文の番号とは連動していません。

令和3・4年度
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻博士前期課程受験票

B 票

受験番号 ※

志願区分	1 一般 2 社会人 3 外国人留学生 4 推薦 5 特別推薦 [令和3年10月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年4月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年10月入学希望: <input type="checkbox"/> 〔該当する志願区分の数字を○で囲んでください。 また、入学希望時期の□にレを記入してください。〕	<p>写真貼付欄</p> <p>< 注意 > 上半身、脱帽、正面 向きで出願前3ヶ月 以内のもの 縦4cm×横3cm</p> <p>※特別推薦は写真の 貼付不要</p>
フリガナ		
氏名		
性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
※		

- 注意事項
- 1 本受験票は、試験当日必ず携帯してください。
 - 2 受験票は、個人成績の開示請求の際に必要ですから紛失しないでください。
 - 3 ※欄は記入しないでください。
 - 4 「志願区分」の番号は、学生募集要項本文の番号とは連動していません。

令和3・4年度
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻博士前期課程写真票

C 票 ①

受験番号 ※

志願区分	1 一般 2 社会人 3 外国人留学生 4 推薦 5 特別推薦 [令和3年10月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年4月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年10月入学希望: <input type="checkbox"/> 〔該当する志願区分の数字を○で囲んでください。 また、入学希望時期の□にレを記入してください。〕	<p>写真貼付欄</p> <p>< 注意 > 上半身、脱帽、正面 向きで出願前3ヶ月 以内のもの 縦4cm×横3cm</p> <p>※特別推薦は写真の 貼付不要</p>
フリガナ		
氏名		
性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
※		

- 注意事項
- 1 ※欄は記入しないでください。
 - 2 「志願区分」の番号は、学生募集要項本文の番号とは連動していません。

令和3・4年度
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻博士前期課程写真票

C 票 ②

受験番号 ※

志願区分	1 一般 2 社会人 3 外国人留学生 4 推薦 5 特別推薦 [令和3年10月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年4月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年10月入学希望: <input type="checkbox"/> 〔該当する志願区分の数字を○で囲んでください。 また、入学希望時期の□にレを記入してください。〕	<p>写真貼付欄</p> <p>< 注意 > 上半身、脱帽、正面 向きで出願前3ヶ月 以内のもの 縦4cm×横3cm</p> <p>※特別推薦は写真の 貼付不要</p>
フリガナ		
氏名		
性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
※		

- 注意事項
- 1 ※欄は記入しないでください。
 - 2 「志願区分」の番号は、学生募集要項本文の番号とは連動していません。

令和3・4年度 岩手県立大学大学院 住所票(合格通知等送付用)

本票は、合格通知等(入学手続等を含む)の通信用として使用するのので、あなたの住所(合格通知受信場所)、氏名及び郵便番号を正確に記入の上、忘れずに志願票と同封してください。

◎四つとも、同じ住所等を記入してください。

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
	様	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程	

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
	様	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程	

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
	様	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程	

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
	様	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程	

(注)※欄は記入しないこと。

受験番号

※

整理番号

※

履 歴 書

現住所		
氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
学歴 (高等学校卒業以降)	年 月	事 項
職 歴	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
賞 罰		
上記のとおり相違ありません。 年 月 日		
		氏 名
		印

記入上の注意

1. 学歴について

- ① 外国において、学校教育における課程を修了した者は、初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）において在籍したすべての学校を記入するとともに、すべての学校について、入学・卒業年月を記入すること。

また、飛び級がある場合には、その年数を学校ごとに記載すること。

(例) □年□月 △△小学校入学

□年□月 △△小学校卒業（1年飛び級）

なお、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。

- ② ①以外の者は、高等学校（または、それに相当するもの）以降について記入すること。

2. 職歴欄は、勤務先・職種を具体的に記入すること。

3. 学歴・職歴欄に書ききれない場合は、任意の様式に記載して提出すること。

4. ※欄は記入しないこと。

研究計画書

一般・推薦・特別推薦(出願資格(1)の者)・社会人・外国人留学生用

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程

氏名		受験番号	※	整理番号	※
指導希望教員名		(外国人留学生のみ) 面接で使用する言語		日本語・英語 (どちらかを○で囲んでください。)	
希望する研究テーマ					
事前相談の内容 (指導希望教員名 : 印)			事前相談にかかる 別添書類	有・無	
(指導体制・受け入れ体制等, 事前相談の内容を記載すること)					
1. 研究内容 (希望する研究テーマについて, これまでの研究経過・実績も含めて記載すること)					

※欄は記入しないこと。

(1. 研究内容の続きを記載すること)

2. 研究計画・将来の目標 (具体的な研究計画を含む, 将来の目標について記載すること)

希 望 研 究 テ ー マ 申 請 書

特別推薦(出願資格(2)の者)用

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程

氏 名	受験番号	※	整理番号	※
希望する研究テーマ(1)				
(理由)				
希望する研究テーマ(2)				
(理由)				
希望する研究テーマ(3)				
(理由)				

業績レポートA

一般(出願資格1の(9)の者)用
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程

氏名		受験番号	※	整理番号	※
1 出身学校卒業後のソフトウェアに関連する経歴					
年	月	日	経歴の概略		
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				

※欄は記入しないこと。

業績レポートB

社会人用

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程

氏名		受験番号	※	整理番号	※
1 出身学校卒業後のソフトウェアに関連する経歴					
年	月	日	経歴の概略		
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				
・	・				

※欄は記入しないこと。

岩手県立大学大学院 入学者選抜

推薦書 (社会人用)

受験番号	※
------	---

令和 年 月 日

岩手県立大学長 殿

(所在地) _____

推薦者 (企業等名) _____

(職名) _____

(氏名) _____ 印

下記の者は、貴学において岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程の教育を受けるにふさわしい者と認めますので、入学を許可されるよう推薦いたします。

記

所属 _____

職名 _____

氏名 _____

推薦理由

--

※欄は記入しないこと。

岩手県立大学大学院 入学者選抜

推薦書

受験番号

※

令和 年 月 日

岩手県立大学長 殿

(所在地)

推薦者

(大学名)

(職名)

(氏名)

印

下記の者は、貴学において岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士前期課程の教育を受けるにふさわしい者と認めますので、入学を許可されるよう推薦いたします。

記

学部 _____

学科 _____

氏名 _____

推薦理由

--

※欄は記入しないこと。

振込金領収証

年 月 日	
金額	¥30,000 円
振込先銀行	岩手銀行 県庁支店
受取人	公立大学法人 岩手県立大学 理事長 千葉 茂樹
お振込人	様
備考	

上記のとおり振込金として領収いたしました。

銀行

店
(お払込人渡)

払込受付証明書(お客さま用)

(払込人→銀行→払込人)

年 月 日			
金額	¥30,000 円		
払込先銀行	岩手銀行 県庁支店		
受取人	なまえ	公立大学法人 岩手県立大学 理事長 千葉 茂樹	
	預金種目	普通預金	口座番号 2000920
お振込人	おところ		
	おなまえ	様	
志望研究科課程	ソフトウェア情報学研究所 博士前期課程		

この受付証明書は、出願書類に貼付し、所定期間内に必ず本学あてに送付してください。
金融機関受付印のないものは、受付証明書として使用できません。

岩手県立大学

備考



振込依頼書

(入金伝票)

勘定科目	
------	--

年 月 日		(電信扱)									
払込先銀行	岩手銀行 県庁支店					金額	3 0 0 0 0 円				
	なまえ	公立大学法人 岩手県立大学 理事長 千葉 茂樹					現金	円			
預金種目	普通預金	口座番号	2000920			内訳		当店券	円		
お振込人	おところ	電話() -					他店券	円			
	ふりがな	様				検印					
備考	おなまえ	様				手数料	円				
	支払期限 令和3年10月入学・第1次募集: 令和3年6月24日 第2次募集:令和4年1月21日						係印				
(保存期間10年)		(振込店保管)									

○ ○ 各票の太枠内をそれぞれご記入下さい。
別途払込手数料をご負担下さい。

※

(注) ※欄は記入しないこと。

入学検定料(払込受付証明書)貼付用紙

(注意事項)

- ・ 本学所定の「振込依頼書」を使用し、必要事項を記入のうえ、30,000円を添えて**必ず金融機関の窓口**で納入してください。
- ・ **A T M (現金自動預払機) は使用しないでください。**
- ・ 納入後、金融機関から受け取った「払込受付証明書(お客さま用)」の**受付金融機関日附印欄の押印を確認**のうえ、枠内に貼付してください。
なお、「振込金領収証」は入学志願者が保管するものです。貼り間違えないようにしてください。

この枠内にはがれないように
のり付けすること。

整理番号	※
------	---

出願資格審査申請書

岩手県立大学長 殿

令和3・4年度岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻
博士前期課程入学試験に出願を希望します。

つきましては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

年 月 日

(フリガナ) 氏 名	性 別	男 ・ 女
	生年月日	昭和・平成 年 月 日
志 願 区 分	一般 ・ 社会人 ・ 外国人留学生 (該当するものを○で囲んでください。)	
指導希望教員名		
現 住 所	〒 ー 都道府県 電話番号 () ー	
勤 務 先		

※欄は記入しないこと。

キリトリ

速達

□ □ □ - □ □ □ □

- 1. ここに374円切手を貼ること。
- 2. 住所・氏名及び郵便番号を明記すること。

(志願者氏名)

(受験票送付先の住所)

M票

ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻 博士前期課程

(受験票在中)

様

〒020-0693 岩手県滝沢市巣子152-53

岩手県立大学

教育支援室 入試グループ

電話 019-694-2014(直通)

- 1 一般 2 社会人 3 外国人留学生 4 推薦 5 特別推薦

該当する志願区分の数字を○で囲んでください。

キリトリ

キリトリ

キリトリ

令和3・4年度

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科

ソフトウェア情報学専攻博士後期課程入学志願票

		受験番号	※
<input type="text" value="0"/> <input type="text" value="6"/>	ソフトウェア情報学研究科 ソフトウェア情報学専攻 博士後期課程	志願区分	
		<input type="checkbox"/> 1：一般 <input type="checkbox"/> 2：社会人 <input type="checkbox"/> 3：外国人留学生	
		希望入学時期	
		<input type="checkbox"/> 令和3年10月入学	
		<input type="checkbox"/> 令和4年4月入学	
		<input type="checkbox"/> 令和4年10月入学	

(フリガナ) 志願者 氏名 (漢字) (英語表記)	(濁点、半濁点は1文字を使用し、姓・名の間は1文字空け、左から詰めて記入してください。)												
	<input type="text"/>					<input type="text"/>							
	姓					名							
Family Name					Given Name								
性別	性別		生年月日				国籍						
生年月日	<input type="checkbox"/> 1：男	<input type="checkbox"/> 2：女	<input type="checkbox"/> 3：昭和	<input type="checkbox"/> 4：平成	<input type="text"/>	年	<input type="text"/>	月	<input type="text"/>	日	<input type="checkbox"/> 1：日本	<input type="checkbox"/> 2：外国	
合格通知 受信場所	〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>												
都道府県 <input type="text"/> (<input type="text"/> 方)													
電話番号	<input type="text"/>										局番の間には、“-” (ハイフン)を記入してください。		
勤務先 (在職の者のみ記入)	(企業等名・所属・職名)												
〒 <input type="text"/> - <input type="text"/>													
出 願 資 格	(フリガナ) 学 校 名 (出願資格に係る出身学校)					学 校 の 種 類 等		<input type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> 大学院 <input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 短期大学 <input type="checkbox"/> 高等専門学校 <input type="checkbox"/> 専修学校 <input type="checkbox"/> 旧法学校 <input type="checkbox"/> その他					
	※学校コード <input type="text"/>												
研究科・専攻名 <input type="text"/>													
学校所在地 (都道府県名) <input type="text"/>													
卒業等		<input type="checkbox"/> 1：卒業(修了)見込		卒業等		<input type="checkbox"/> 3：昭和		年		<input type="text"/>		月	
		<input type="checkbox"/> 2：卒業(修了)				<input type="checkbox"/> 4：平成				<input type="text"/>			
						<input type="checkbox"/> 5：令和				<input type="text"/>			

注1) ※欄は記入しないこと。
 注2) 国籍が外国の場合は、志願者氏名の英語表記も記入すること。
 注3) 「志願者氏名」欄以外の□の中には、該当する番号を記入すること。
 注4) 「合格通知受信場所」欄は、合格通知の送付先や緊急時の連絡ができる住所、電話番号を記入すること。
 注5) 「学校の種類等」欄は、該当するものを○で囲むこと。

令和3・4年度
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻博士後期課程受験票

B 票

受験番号 ※

志願区分	1 一般	2 社会人
	3 外国人留学生	
	[令和3年10月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年4月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年10月入学希望: <input type="checkbox"/>	
	〔該当する志願区分の数字を○で囲んでください。 また、希望入学時期の□の中にレを記入してください。〕	
	フリガナ	
氏名		
性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
※		

写真貼付欄

< 注意 >
上半身、脱帽、正面
向きで出願前3ヶ月
以内のもの
縦4cm×横3cm

- 注意事項
- 1 本受験票は、試験当日必ず携帯してください。
 - 2 受験票は、個人成績の開示請求の際に必要なですから紛失しないでください。
 - 3 ※欄は記入しないでください。

令和3・4年度
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻博士後期課程写真票

C 票 ①

受験番号 ※

志願区分	1 一般	2 社会人
	3 外国人留学生	
	[令和3年10月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年4月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年10月入学希望: <input type="checkbox"/>	
	〔該当する志願区分の数字を○で囲んでください。 また、希望入学時期の□の中にレを記入してください。〕	
	フリガナ	
氏名		
性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
※		

写真貼付欄

< 注意 >
上半身、脱帽、正面
向きで出願前3ヶ月
以内のもの
縦4cm×横3cm

- 注意事項 ※欄は記入しないでください。

令和3・4年度
岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科
ソフトウェア情報学専攻博士後期課程写真票

C 票 ②

受験番号 ※

志願区分	1 一般	2 社会人
	3 外国人留学生	
	[令和3年10月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年4月入学希望: <input type="checkbox"/> [令和4年10月入学希望: <input type="checkbox"/>	
	〔該当する志願区分の数字を○で囲んでください。 また、希望入学時期の□の中にレを記入してください。〕	
	フリガナ	
氏名		
性別	男 ・ 女	
生年月日	昭和・平成 年 月 日	
※		

写真貼付欄

< 注意 >
上半身、脱帽、正面
向きで出願前3ヶ月
以内のもの
縦4cm×横3cm

- 注意事項 ※欄は記入しないでください。

令和3・4年度 岩手県立大学大学院 住所票(合格通知等送付用)

本票は、合格通知等(入学手続等を含む)の通信用として使用するのので、あなたの住所(合格通知受信場所)、氏名及び郵便番号を正確に記入の上、忘れずに志願票と同封してください。

◎四つとも、同じ住所等を記入してください。

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
 <div style="text-align: right;">様</div>	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程	

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
 <div style="text-align: right;">様</div>	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程	

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
 <div style="text-align: right;">様</div>	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程	

合格通知等 送付先	〒 —	受験番号 ※
 <div style="text-align: right;">様</div>	
志望研究科	ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程	

(注)※欄は記入しないこと。

受験番号

※

整理番号

※

履 歴 書

現住所		
氏名 生年月日	昭和・平成 年 月 日生	
学歴 (高等学校卒業以降)	年 月	事 項
職 歴	～	
	～	
	～	
	～	
	～	
賞 罰		
上記のとおり相違ありません。 年 月 日		
		氏 名 印

記入上の注意

1. 学歴について

- ① 外国において、学校教育における課程を修了した者は、初等教育（小学校）、中等教育（中学校・高等学校）、高等教育（大学・大学院）において在籍したすべての学校を記入するとともに、すべての学校について、入学・卒業年月を記入すること。

また、飛び級がある場合には、その年数を学校ごとに記載すること。

(例) □年□月 △△小学校入学

□年□月 △△小学校卒業（1年飛び級）

なお、大学等で研究生等として在学歴がある場合は、その期間も記入すること。

- ② ①以外の者は、高等学校（または、それに相当するもの）以降について記入すること。

2. 職歴欄は、勤務先・職種を具体的に記入すること。

3. 学歴・職歴欄に書ききれない場合は、任意の様式に記載して提出すること。

4. ※欄は記入しないこと。

研究計画書

一般・社会人・外国人留学生用

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程

氏名		受験番号	※	整理番号	※
指導希望教員名		(外国人留学生のみ) 面接で使用する言語		日本語・英語 (どちらかを○で囲んでください。)	
希望する研究テーマ					
事前相談の内容（指導希望教員名： 印）			事前相談にかかる 別添書類	有・無	
(指導体制・受け入れ体制等，事前相談の内容を記載すること)					
1. 研究内容（希望する研究テーマについて，これまでの研究経過・実績も含めて記載すること）					

※欄は記入しないこと。

(1. 研究内容の続きを記載すること)

2. 研究計画・将来の目標 (具体的な研究計画を含む, 将来の目標について記載すること)

業績レポート

社会人用

岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程

氏名		受験番号	※	整理番号	※
1 勤務先における経歴					
年	月	日	所属・担当分野、役割等の概略		
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			
.	.	.			

※欄は記入しないこと。

H票

岩手県立大学大学院 入学者選抜

推薦書 (社会人用)

受験番号

※

令和 年 月 日

岩手県立大学長 殿

(所在地)

推薦者

(企業等名)

(職名)

(氏名)

印

下記の者は、貴学において岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻博士後期課程の教育を受けるにふさわしい者と認めますので、入学を許可されるよう推薦いたします。

記

所属 _____

職名 _____

氏名 _____

推薦理由

--

※欄は記入しないこと。

振込金領収証

年 月 日	
金額	¥30,000 円
振込先銀行	岩手銀行 県庁支店
受取人	公立大学法人 岩手県立大学 理事長 千葉 茂樹
お振込人	様
備考	

上記のとおり振込金として領収いたしました。

銀行

店
(お払込人渡)

払込受付証明書(お客さま用)

(払込人→銀行→払込人)

年 月 日			
金額	¥30,000 円		
払込先銀行	岩手銀行 県庁支店		
受取人	なまえ	公立大学法人 岩手県立大学 理事長 千葉 茂樹	
	預金種目	普通預金	口座番号 2000920
お振込人	おところ		
	おなまえ	様	
志望研究科課程	ソフトウェア情報学研究所 博士後期課程		

この受付証明書は、出願書類に貼付し、所定期間内に必ず本学あてに送付してください。
金融機関受付印のないものは、受付証明書として使用できません。

岩手県立大学

備考

振込依頼書

(入金伝票)

勘定科目	
------	--

年 月 日		(電信扱)											
払込先銀行	岩手銀行 県庁支店					金額					円		
受取人	なまえ	公立大学法人 岩手県立大学 理事長 千葉 茂樹					内 訳	現金					円
	預金種目	普通預金	口座番号	2000920		当店券						円	
お振込人	おところ	電話() -						他店券					円
	ふりがな												円
	おなまえ	様										円	
備考	支払期限	令和3年10月入学・第1次募集: 令和3年6月24日 第2次募集: 令和4年1月21日					検印						
												係印	
備考		(保存期間10年)					手数料						

○ ○ 各票の太枠内をそれぞれご記入下さい。
別途払込手数料をご負担下さい。

(振込店保管)

※

(注) ※欄は記入しないこと。

入学検定料(払込受付証明書)貼付用紙

(注意事項)

- ・ 本学所定の「振込依頼書」を使用し、必要事項を記入のうえ、30,000円を添えて**必ず金融機関の窓口**で納入してください。
- ・ **A T M (現金自動預払機) は使用しないでください。**
- ・ 納入後、金融機関から受け取った「払込受付証明書(お客さま用)」の**受付金融機関日附印欄の押印を確認**のうえ、枠内に貼付してください。
なお、「振込金領収証」は入学志願者が保管するものです。貼り間違えないようにしてください。

この枠内にはがれないように
のり付けすること。

整理番号	※
------	---

出願資格審査申請書

岩手県立大学長 殿

令和3・4年度岩手県立大学大学院ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻
博士後期課程入学試験に出願を希望します。

つきましては、出願資格の認定を受けたいので、所定の書類を添えて申請します。

年 月 日

(フリガナ) 氏 名		性 別	男 ・ 女
		生年月日	昭和・平成 年 月 日
志 願 区 分	一般 ・ 社会人 ・ 外国人留学生 (該当するものを○で囲んでください。)		
指導希望教員名			
現 住 所	〒 ー 都道府県 電話番号 () ー		
勤 務 先			

※欄は記入しないこと。

キリトリ

速達

□□□-□□□□

- 1. ここに374円切手を貼ること。
- 2. 住所・氏名及び郵便番号を明記すること。

(志願者氏名)

(受験票送付先の住所)

I 票

ソフトウェア情報学研究科ソフトウェア情報学専攻 博士後期課程

(受験票在中)

様

〒020-0693 岩手県滝沢市菓子152-53

岩手県立大学

教育支援室 入試グループ

電話 019-694-2014(直通)

- 1 一般
- 2 社会人
- 3 外国人留学生

該当する志願区分の数字を○で囲んでください。

キリトリ

キリトリ

キリトリ